

2016

公益社団法人 米沢青年会議所



JC Report
Annual Report
2015 ~ 2016

Junior Chamber International Yonezawa.

目 次

2015年度(平成27年度)事業及び収支決算報告書

事業報告	2
例会報告	3
理事会報告	7
貸借対照表	10
正味財産増減計算書	11
正味財産増減計算内訳表	13
収支計算書	14
収支計算内訳表	16
財産目録	17
財務諸表に対する注記	18
備品目録	23
倉庫備品リスト	24
決算報告・監査意見書	25

2015年度(平成27年度)アニュアルレポート27

2016年度(平成28年度)事業及び収支予算計画書

2016年度スローガン	56
理事長所信 2016年度第55代理事長 加藤 剛士	57
基本理念	61
2016年度公益社団法人米沢青年会議所組織図	62
2016年度事業計画	63
正味財産増減計算書内訳表	64



2015年度
(平成27年度)

事業及び収支決算報告書

公益社団法人 米沢青年会議所
自 2015年 1月 1日
至 2015年 12月 31日

2015年度 事業報告（対外事業・他）

1月

事務所開き・事業始め

公益社団法人日本青年会議所 京都會議（京都）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 新春交歓会 第1回会員会議所会議（酒田）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 アカデミー委員会 開講式（酒田）

2月

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 ゼミナール委員会 開校式（仙台）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議（東根）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第4エリア ブロック会長公式訪問（米沢）

3月

公益社団法人日本青年会議所 総会（横浜）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議（山形）

東日本大震災復興祈念事業（米沢）

4月

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 コミュニケーションデザイン確立委員会 メディアリテラシー向上セミナー（天童）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 拡大実践会議 会員拡大セミナー（天童）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 地域の未来創造委員会 防災ネットワーク講演会（鶴岡）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議（鶴岡）

5月

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 やまがた協働運動実践委員会 憲法セミナー（山形）

全国城下町連合会シンポジウム（会津）

6月

J C I A S P A C コタキナバル大会（マレーシア コタキナバル）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 やまがた協働運動実践委員会 ふるさとOMO I Y A R I プロジェクト2015（米沢）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第48回ブロック大会 むらやま大会（村山）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議（村山）

U N M D G s 認知向上プログラム（川西）

7月

公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス2015（横浜）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 拡大実践会議 会員拡大セミナー（山形）

公益社団法人長井青年会議所創立50周年式典（長井）

8月

青年部サミット2015（米沢）

9月

公益社団法人日本青年会議所 第64回全国大会東北八戸大会（八戸）

公益社団法人日本青年会議所 総会（八戸）

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 東北青年フォーラム 二本松・浪江大会（二本松・浪江）

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 ゼミナール委員会 開校式（二本松）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第6回会員会議所会議（天童）

U N M D G s 認知向上プログラム（米沢）

大和町豪雨災害支援活動（大和）

10月

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議（高畠）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 アカデミー委員会 アカデミー修了式（高畠）

公益社団法人山形青年会議所 創立60周年記念式典（山形）

公益社団法人天童青年会議所 創立45周年記念式典（天童）

一般社団法人東海青年会議所 細井平洲先生と上杉鷹山公の像の除幕式（東海）

11月

J C I 世界会議（金沢）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議・卒業式（酒田）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 卒業式（酒田）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 コミュニケーションデザイン確立委員会 Y A M A G A T A A W A R D S 2015（酒田）

公益社団法人上越青年会議所 意見交換会（上越）

第16回 山形ふるさとCM大賞 米沢市共同制作事業

12月

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 会員会議所会議（青森）

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 卒業式（青森）

骨髓バンク支援活動（米沢）

2015年度例会報告

期 日	例 会 ・ 総 会	会 場	内 容
1月19日（月）	<u>総会</u> 出席 89名 うち委任状出席38名	グランドホクヨウ	『第107回通常総会（定時）総会』 第一号議案 2014年度年間事業報告承認の件 第二号議案 2014年度収支決算承認の件 第三号議案 山形ブロック協議会2017年度山形ブロック大会主管立候補の件 監査報告 担当 総務広報委員会
	<u>1月例会</u> 出席 51名 来賓・OB 43名	グランドホクヨウ	『新春祝賀会』 理事長挨拶 来賓・OB紹介 来賓・OB会長・ブロック協議会会長挨拶 鏡開き 市長・町長・理事長書初め披露 担当 総務広報委員会
2月9日（月）	<u>2月第一例会</u> 出席 40名	東京第一ホテル米沢	『山形ブロック協議会 第4エリア 2015年度ブロック会長公式訪問』 ブロック会長挨拶 日本青年会議所 基本方針説明 ブロック各委員会説明 第4エリアLOM紹介 会員会議所 事業説明 担当 事務局
2月14日（土） 15日（日）	<u>2月第二例会</u> 出席 54名	松ヶ岬第2公園、 おまつり広場	『まちWAKU! SNOW FESTA 2015 ～光と雪の思い出～』 光の迷路、雪のトンネル チョコフォンデュ体験 不思議メガネの販売 小学生絵画による木灯籠展示、雪灯籠製作 プロジェクションマッピング 雪上ストラックアウト 担当 まちWAKU情熱委員会

3月20日（金）	<u>3月例会</u> 出席 48名 一般来場者 128名	伝国の杜 置賜文化 ホール	『スポーツを通じた元気と活力向上セミナー 水沼貴史氏と「夢“見っぺ・語っぺ”」』 サブテーマ ～私はこうして夢をつかんだ～ スポーツの観点から地域住民の意識啓発を図 る講演（セミナー） 担当 地域の“魂”活性化委員会
4月18日（土）	<u>4月例会</u> 出席 28名 外部協力者 75名 一般参加者 約500 名	宮城県亘理町 佐藤記念体育館	『YONEZAWA&WATARI JOY フェス』 飲食・物販ブース出展 お茶飲みコミュニケーションブース むかし遊び 米沢織染織体験 ステージ発表 担当 総務広報委員会
5月17日（日）	<u>5月例会</u> 出席 40名 一般参加者 保護者 107名 子供 142名	米沢市勤労者福祉セ ンター （アクティー米沢）	『「五感と心で新たな出会い」 ～むかしのあそび探検隊～ ～親子で飛ばそう竹トンボ～』 藤沼昇氏による講演 竹トンボ製作体験 竹の子味噌汁振る舞い 手作り遊び体験 担当 ひとつくりの源委員会
6月13日（土）	<u>6月第一例会</u> 出席 32名 来場者数 約500名	調理場所：すこやか センター調理実習室 ふるまい場所：松が 岬第2公園	『米沢・川西「D」プロジェクト 創作DAN GOコンテスト』 創作DANGOコンテスト お茶のふるまい 担当 まちWAKU情熱委員会
6月21日（日）	<u>6月第二例会</u> 出席 46名 一般参加者 181名	米沢会場：松川河川 敷及びその周辺 川西会場：やまがた 川西ダリヤ園周辺	『ふるさとOMOIYARIプロジェクト2 015』 県内一斉清掃活動 市町村民憲章推進事業 スポーツGOMI拾い 担当 事務局

6月28日（日）	<u>6月第三例会</u> 出席 36名	村山市民会館、 東沢バラ公園	『第48回山形ブロック大会むらやま大会』 メインフォーラム、分科会 地域活性化からいち 担当 事務局
7月26日（日）	<u>7月第一例会</u> 出席 56名	松川河川敷運動広場	『MUSIC FESTIVAL 2015』 高校生バンドコンテスト ステージパフォーマンス 体験ブース出展 YEG Y-1 グルメグランプリとの同時開催 担当 地域の“魂”活性化委員会
7月29日（水）	<u>7月第二例会</u> 出席 58名 うち新入会員 17名	伝国の杜 置賜文化 ホール 大会議室	『新入会員バッチ贈呈式及び次年度理事長当 選者挨拶』 新入会員にバッチ贈呈 次年度理事長当選者挨拶 担当 会員拡大委員会
8月4日（火） 5日（水）	<u>8月例会</u> 出席 58名 小学生参加者 64名	飯豊少年自然の家	『「五感と心で新たな出会い」 ～どきどき！ わくわく！サバイバルキャンプ～』 小学校1年生から6年生までを対象としたキ ャンプ 食材獲得プログラム、野外炊飯 徳育セミナー 担当 ひとづくりの源委員会
9月16日（水）	<u>総会</u> 出席 97名 うち委任状出席 47名	グランドホクヨウ	『第108回通常総会』 第一号議案 2016年度理事予定者承認の 件 第二号議案 2016年度監事予定者選出及 び承認の件 第三号議案 山形ブロック協議会ブロック大 会主管立候補取下げの件 修正予算報告 2016 年度理事長候補者意見表明 当選証書授与 担当 総務広報委員会

9月25日（金） 26日（土）	<u>9月例会</u> 出席 13名	八戸市	『第64回全国大会東北八戸大会』 メインフォーラム 各種フォーラム・セミナー 大会式典（式典の部、卒業式の部） 担当 事務局
10月16日（金）	<u>10月例会</u> 出席 28名 長井JC 11名 南陽JC 21名 高畠JC 9名	米沢ボウリングレーンズ	『置賜4JC合同例会』 置賜4JC交流ボウリング大会 担当 事務局
11月1日（日）	<u>11月第一例会</u> 正会員 42名 ご家族参加者 配偶者 15名 子供 37名	川西町交流館 屋内運動場	『家族交流例会 スポーツレクリエーション2015』 宝さがしゲーム、障害物競走、夫婦対抗レース等の競技 昼食会（芋煮）、事業紹介 担当 会員拡大委員会
11月11日（水）	<u>11月第二例会</u> 出席 51名 来場者数 約130名	置賜総合文化センター	『米沢市長選挙 公開討論会』 クロストーク形式の討論会 e-みらせん 大学生や高校生を対象とした模擬投票 担当 まちWAKU情熱委員会
12月5日（土）	<u>12月例会</u> 出席 60名	ローズガーデン	『2015年度卒業式&ラストスピーチ』 卒業生のスピーチ・卒業証書授与 担当 総務広報委員会

2015年度 理事会報告

[illegible]

[illegible]

回	期 日	会 場	協 議	審 議
(4)	2014.9.16 (臨時)	グランドホクウ	①米沢青年会議所2016年度 理事予定者の人事案について	①米沢青年会議所2016年度 理事予定者人事(案) 承認の件
10	2015.10.8	地域産業支援センター	①米沢青年会議所2015年度 まちWAKU情熱委員会 11月第2例会 米沢市長選挙公開討論会事業計画並びに予算(案)について ②米沢青年会議所2015年度 会長拡大委員会 第3回役員セミナー 事業報告並びに決算(案)について ③米沢青年会議所2015年度 会員拡大委員会 11月第1例会 家族交流例会 スポーツレクリエーション2015事業計画並びに予算(案)について ④米沢青年会議所2015年度 会員拡大委員会 7月第2例会 新入会員バッジ贈呈及び次年度理事候補者候補者事業報告並びに決算(案)について ⑤米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 12月例会 「2015年度卒業式&ラストスピーチ」事業計画並びに決算(案)について ⑥米沢青年会議所2015年度 ひとづくりの原委員会 8月例会 「五感と心で新たな出会い」〜どきどき!わくわく!サバイバルキャンプ〜事業修正予算(案)について ⑦米沢青年会議所2015年度 地域の“境”活性化委員会 7月例会 MUSICFESTIVAL2015事業報告並びに決算(案)について ⑧米沢青年会議所2015年度 財政局 2015年度修正予算(案)について	①米沢青年会議所2015年度 まちWAKU情熱委員会 11月第2例会 米沢市長選挙公開討論会事業計画並びに予算(案) 承認の件 ②米沢青年会議所2015年度 会長拡大委員会 第3回役員セミナー 事業報告並びに決算(案) 承認の件 ③米沢青年会議所2015年度 会員拡大委員会 11月第1例会 家族交流例会 スポーツレクリエーション2015事業計画並びに予算(案) 承認の件 ④米沢青年会議所2015年度 会員拡大委員会 7月第2例会 新入会員バッジ贈呈及び次年度理事候補者候補者事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑤米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 12月例会 「2015年度卒業式&ラストスピーチ」事業計画並びに決算(案) 承認の件 ⑥米沢青年会議所2015年度 ひとづくりの原委員会 8月例会 「五感と心で新たな出会い」〜どきどき!わくわく!サバイバルキャンプ〜事業修正予算(案) 承認の件 ⑦米沢青年会議所2015年度 地域の“境”活性化委員会 7月例会 MUSICFESTIVAL2015事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑧米沢青年会議所2015年度 財政局 2015年度修正予算(案) 承認の件
11	2015.11.5	地域産業支援センター	①米沢青年会議所2015年度 まちWAKU情熱委員会 11月第2例会 米沢市長選挙公開討論会事業計画並びに予算(案)について ②米沢青年会議所2015年度 ひとづくりの原委員会 8月例会 「五感と心で新たな出会い」〜どきどき!わくわく!サバイバルキャンプ〜事業報告並びに決算(案)について ③米沢青年会議所2015年度 地域の“境”活性化委員会 7月例会 MUSICFESTIVAL2015事業報告並びに決算(案)について ④米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 12月例会 「2015年度卒業式&ラストスピーチ」事業計画並びに決算(案)について ⑤米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 第108回 通常総会事業報告並びに決算(案)について ⑥米沢青年会議所2015年度 事務局 9月例会 第64回全国大会東北八戸大会 事業報告(案)について ⑦米沢青年会議所2015年度 事務局 第48回山形ブロック大会むらやま大会 地域活性化からいらいmむらやま修正事業計画(案)について ⑧公益社団法人上郷青年会議所 公益社団法人米沢青年会議所友好青年会議所締結 覚書(案)について	①米沢青年会議所2015年度 まちWAKU情熱委員会 11月第2例会 米沢市長選挙公開討論会事業計画並びに予算(案) 承認の件 ②米沢青年会議所2015年度 ひとづくりの原委員会 8月例会 「五感と心で新たな出会い」〜どきどき!わくわく!サバイバルキャンプ〜事業報告並びに決算(案) 承認の件 ③米沢青年会議所2015年度 地域の“境”活性化委員会 7月例会 MUSICFESTIVAL2015事業報告並びに決算(案) 承認の件 ④米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 12月例会 「2015年度卒業式&ラストスピーチ」事業計画並びに決算(案) 承認の件 ⑤米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 第108回 通常総会事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑥米沢青年会議所2015年度 事務局 9月例会 第64回全国大会東北八戸大会 事業報告(案) 承認の件 ⑦米沢青年会議所2015年度 事務局 第48回山形ブロック大会むらやま大会 地域活性化からいらいmむらやま修正事業計画(案) 承認の件 ⑧公益社団法人上郷青年会議所 公益社団法人米沢青年会議所友好青年会議所締結 覚書(案) 承認の件
12	2015.12.12	エル・ソール仙台AER28階	①米沢青年会議所2015年度 会員退会について ②米沢青年会議所2015年度 会員休会について ③米沢青年会議所2015年度 米沢青年会議所2016年度理事予定者会議議案(案)について ④米沢青年会議所2015年度 会長拡大委員会 11月第1例会家族交流例会スポーツレクリエーション2015事業報告並びに決算(案)について ⑤米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 12月例会 「2015年度卒業式&ラストスピーチ」事業報告並びに決算(案)について ⑥米沢青年会議所2015年度 まちWAKU情熱委員会 11月第2例会米沢市長選挙公開討論会事業報告並びに決算(案)について ⑦米沢青年会議所2015年度 事務局 第48回山形ブロック大会むらやま大会 地域活性化からいらいmむらやま事業報告並びに決算(案)について ⑧米沢青年会議所2015年度 事務局 10月例会 置賜4JC合同例会 事業報告並びに決算(案)について ⑨米沢青年会議所2015年度 「第16回 山形ふるさとCM大賞」米沢市共同制作事業報告並びに決算(案)について ⑩公益社団法人上郷青年会議所 公益社団法人米沢青年会議所 友好青年会議所締結 覚書(案)について ⑪米沢青年会議所2015年度 財政局 2015年度決算書(案)について	①米沢青年会議所2015年度 会員退会承認の件 ②米沢青年会議所2015年度 会員休会承認の件 ③米沢青年会議所2015年度 米沢青年会議所2016年度理事予定者会議議案(案) 承認の件 ④米沢青年会議所2015年度 会長拡大委員会 11月第1例会家族交流例会スポーツレクリエーション2015事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑤米沢青年会議所2015年度 総務広報委員会 12月例会 「2015年度卒業式&ラストスピーチ」事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑥米沢青年会議所2015年度 まちWAKU情熱委員会 11月第2例会米沢市長選挙公開討論会事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑦米沢青年会議所2015年度 事務局 第48回山形ブロック大会むらやま大会 地域活性化からいらいmむらやま事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑧米沢青年会議所2015年度 事務局 10月例会 置賜4JC合同例会 事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑨米沢青年会議所2015年度 「第16回 山形ふるさとCM大賞」米沢市共同制作事業報告並びに決算(案) 承認の件 ⑩公益社団法人上郷青年会議所 公益社団法人米沢青年会議所 友好青年会議所締結 覚書(案) 承認の件 ⑪米沢青年会議所2015年度 財政局 2015年度決算書(案) 承認の件

貸借対照表

平成27年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	49,689	15,290	34,399
預金	4,817,292	4,680,478	136,814
未収金	0	0	0
流動資産合計	4,866,981	4,695,768	171,213
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	5,006,001	5,007,251	▲ 1,250
基本財産合計	5,006,001	5,007,251	▲ 1,250
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
デスクトップPC	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	5,006,001	5,007,251	▲ 1,250
資産合計	9,872,982	9,703,019	169,963
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			0
短期借入金			0
預り金			0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)			0
(うち特定資産への充当額)			0
2. 一般正味財産	9,872,982	9,703,019	169,963
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	9,872,982	9,703,019	169,963
負債及び正味財産合計	9,872,982	9,703,019	169,963

正味財産増減計算書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,565	1,250	315
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	11,530,000	11,155,000	375,000
事業収益	581,150	707,500	▲ 126,350
受取補助金等	1,682,020	1,600,000	82,020
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	70,000	0	70,000
雑収益	133,385	68,093	65,292
経常収益計	13,998,120	13,531,843	466,277
(2) 経常費用			
事業費	13,828,157	15,207,848	▲ 1,379,691
事業費	9,660,354	12,256,254	▲ 2,595,900
給与手当	407,925	435,260	▲ 27,335
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	0	0	0
旅費交通費	403,136	574,399	▲ 171,263
通信運搬費	294,311	310,171	▲ 15,860
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	2,549,619	2,121,592	428,027
消耗品費	170,448	250,108	▲ 79,660
修繕費	0	31,500	▲ 31,500
印刷製本費	1,047,458	911,847	135,611
燃料費	0	8,000	▲ 8,000
光熱水料費	20,840	18,530	2,310
賃借料	1,503,482	1,258,030	245,452
保険料	74,033	17,050	56,983
謝礼金	582,666	648,452	▲ 65,786
租税公課	1,000	0	1,000
支払負担金	296,160	269,269	26,891
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
委託費	892,556	1,436,382	▲ 543,826
雑費	1,416,720	3,965,664	▲ 2,548,944

管理費	4,167,803	2,951,594	1,216,209
給与手当	101,981	108,815	▲ 6,834
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	2,000	▲ 2,000
会議費	45,900	38,100	7,800
旅費交通費	26,000	24,000	2,000
通信運搬費	356,966	45,671	311,295
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	387,450	19,502	367,948
消耗品費	113,024	62,669	50,355
修繕費	0	0	0
印刷製本費	356,440	325,390	31,050
燃料費	0	0	0
光熱水料費	0	0	0
賃借料	250,844	251,224	▲ 380
保険料	0	0	0
謝礼金	375,000	244,000	131,000
租税公課	27,700	29,708	▲ 2,008
支払負担金	1,588,750	1,349,750	239,000
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	20,000	▲ 20,000
委託費	64,800	93,260	▲ 28,460
雑費	472,948	337,505	135,443
経常費用計	13,828,157	15,207,848	▲ 1,379,691
評価損益等調整前当期経常増減額			
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	169,963	▲ 1,676,005	1,845,968
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
固定資産売却益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
固定資産売却損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	169,963	▲ 1,676,005	1,845,968
一般正味財産期首残高	9,703,019	11,379,024	▲ 1,676,005
一般正味財産期末残高	9,872,982	9,703,019	169,963
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	9,872,982	9,703,019	169,963

正味財産増減計算内訳書
平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業会計					その他事業会計					法人会計	内部取引消去	合計
	青少年育成事業	ひとづくり事業	まちづくり事業	共通	小計	会員啓発事業	会員協大事業	親善他団体連携事業	共通	小計			
I 一般正味財産の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
基本財産運用益					1,985					0			1,985
基本財産受取利息				1,585									
特定受取利息運用益					182,000					0			
受取入会金				162,000						0	378,000		540,000
受取会費										0			
正会員受取会費	399,925	386,697	3,171,930	344,683	4,318,235	541,309	157,880	505,870	316,765	1,821,804	2,744,981		8,580,000
新入会員受取会費				324,000	324,000			80,000		80,000	878,000		1,080,000
特別会員受取会費				48,000	48,000					0	112,000		160,000
賛助会員受取会費					0					0	0		0
準会員受取会費					0					0	0		0
特別受取会費			40,000	355,500	395,500			345,864		345,864	428,834		1,170,000
事業収益													
公益事業収益					421,000								421,000
登録料収入	253,000	16,500	151,500	160,150	180,150								180,150
販売収入					0								0
広告料収入					0								0
謝礼金					0								0
受取補助金等					1,828,172					0			1,828,172
地方公共団体補助金収入			1,828,172		10,000					0			0
民間補助金収入			10,000		0			43,848		43,848			83,848
業務受託収入					0					0			0
受取利息収入				70,000	70,000					0			70,000
受取寄付金収入					1,574					0			1,574
その他雑収入				1,574	0	74,505	30,000	20,000		124,505	7,211		1,574
経常収益計	652,925	413,197	5,231,752	1,237,222	7,535,196	615,809	187,880	905,864	316,765	2,116,018	4,346,906	0	13,988,120
(2) 経常費用													
事業費					305,944					101,981			407,925
給与手当					305,944					0			0
退職給付費用					0					0			0
福利厚生費					0					0			0
会議費					0					0			0
旅費交通費	146,016	28,080	132,420		308,516		27,500	68,120	28,820	94,920			403,136
通信運搬費	34,428	10,800	90,332	89,464	225,024	39,467				98,297			294,311
消耗什物運搬品費	87,264	355	2,033,161		2,120,779	378,094	42,750	10,000		428,844			2,548,613
消耗品費	51,737	100,180	18,531		170,448					0			170,448
修繕費	68,120	82,080	880,258		1,011,458	5,000	25,000	6,000		36,000			1,047,458
印刷製本費					0					0			0
燃料費					20,940					0			20,940
光熱水料費	2,000	3,640	15,200	554,894	1,157,574	52,400	75,590	52,464	184,954	365,508			1,503,482
賃借料	203,400	31,590	348,090		583,080	22,360				22,360			74,033
保険料	40,000	3,003	8,670		51,673					16,400			582,686
謝礼金	3,456	135,130	428,680		567,266		15,400			0			1,000
租税公課		200	800		1,000					0			0
支払負担金					0					0			0
JCI会費支出					97,020					0			97,020
JCI会費新入会員分支出					23,940					0			23,940
国際協力費支出					140,525					0			140,525
国際協力費新入会員分支出					34,675					0			34,675
支払負担金					0					0			0
委託費					0					0			0
謝費	15,504	18,144	830,998		854,646	61,560	1,620	858,000		919,180			882,656
管理費			464,614		464,614	58,830				918,460			1,416,120
給与手当										101,981			101,981
退職給付費用										0			0
福利厚生費										0			0
会議費										46,900			46,900
旅費交通費										28,000			28,000
通信運搬費										368,948			368,948
減価償却費										0			0
消耗什物運搬品費										367,450			367,450
消耗品費										113,024			113,024
修繕費										368,440			368,440
印刷製本費										0			0
燃料費										0			0
光熱水料費										280,844			280,844
賃借料										0			0
保険料										376,000			376,000
謝礼金										27,700			27,700
租税公課										0			0
支払負担金										0			0
日本JCI会本拠支出					80,000					0			80,000
日本JCI会費新入会員分支出					368,000					0			368,000
地区協議会本拠支出					47,800					0			47,800
地区協議会費新入会員分支出					5,000					0			5,000
地区協議会費新入会員分支出					115,500					0			115,500
ブロック協議会本拠支出					10,000					0			10,000
ブロック協議会費新入会員分支出					385,000					0			385,000
ブロック協議会費新入会員分支出					10,000					0			10,000
全国植下町連携協議会費支出					254,750					0			254,750
日本JCI会出向者負担金支出					60,000					0			60,000
地区協議会出向者負担金支出					10,000					0			10,000
ブロック協議会出向者負担金支出					18,000					0			18,000
ブロック大会運営費					231,000					0			231,000
支払負担金					0					0			0
委託費					0					0			0
謝費					0					0			0
経常費用計	652,925	413,197	5,231,752	1,246,482	7,544,336	615,809	187,880	905,864	316,765	2,116,018	4,167,803	0	13,828,167
当期経常増減額	0	0	0	▲ 9,140	▲ 9,140	0	0	0	0	0	178,103	0	169,963
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用													
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	▲ 9,140	▲ 9,140	0	0	0	0	0	178,103	0	169,963
一般正味財産増減の部													
前期繰越額					0					0			0
当期指定正味財産増減額					0					0			0
指定正味財産増減額					0					0			0
指定正味財産増減額					0					0			0
指定正味財産増減額					0					0			0
正味財産増減末残高	0	0	0	4,988,111	4,988,111	0	0	0	▲ 2,374,781	▲ 2,374,781	7,248,652	0	8,872,882

収支計算書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用益収入	1,500	1,565	▲ 65
特定資産運用益収入	0	0	0
受取会費収入	10,895,000	11,530,000	▲ 635,000
事業収入	170,000	581,150	▲ 411,150
受取補助金等収入	1,600,000	1,682,020	▲ 82,020
受取負担金収入	0	0	0
受取寄付金収入	39,500	70,000	▲ 30,500
雑収入	0	133,385	▲ 133,385
事業活動収入計	12,706,000	13,998,120	▲ 1,292,120
2. 事業活動支出			
事業費支出	9,071,189	9,660,354	▲ 589,165
給与手当支出	584,000	407,925	176,075
退職給付費支出	0	0	0
福利厚生費支出	0	0	0
会議費支出	210,000	0	210,000
旅費交通費支出	446,000	403,136	42,864
通信運搬費支出	424,800	294,311	130,489
減価償却費支出			0
消耗什器備品費支出	2,153,100	2,549,619	▲ 396,519
消耗品費支出	290,000	170,448	119,552
修繕費支出	50,000	0	50,000
印刷製本費支出	375,000	1,047,458	▲ 672,458
燃料費支出		0	0
光熱水料費支出		20,840	▲ 20,840
賃借料支出	1,116,097	1,503,482	▲ 387,385
保険料支出	60,000	74,033	▲ 14,033
謝礼金支出	180,000	582,666	▲ 402,666
租税公課支出	0	1,000	▲ 1,000
支払負担金支出	273,305	296,160	▲ 22,855
支払助成金支出	0	0	0
支払寄付金支出	0	0	0
委託費支出	800,000	892,556	▲ 92,556
雑費支出	2,108,887	1,416,720	692,167

管理費支出	4,039,062	4,167,803	▲ 128,741
給与手当支出	146,000	101,981	44,019
退職給付費支出	0	0	0
福利厚生費支出	50,000	0	50,000
会議費支出	100,000	45,900	54,100
旅費交通費支出	0	26,000	▲ 26,000
通信運搬費支出	63,940	356,966	▲ 293,026
減価償却費支出	0	0	0
消耗什器備品費支出	13,400	387,450	▲ 374,050
消耗品費支出	50,000	113,024	▲ 63,024
修繕費支出	0	0	0
印刷製本費支出	380,240	356,440	23,800
燃料費支出	0	0	0
光熱水料費支出	0	0	0
賃借料支出	249,759	250,844	▲ 1,085
保険料支出	0	0	0
謝礼金支出	185,000	375,000	▲ 190,000
租税公課支出	30,000	27,700	2,300
支払負担金支出	1,590,000	1,588,750	1,250
支払助成金支出	200,000	0	200,000
支払寄付金支出	0	0	0
委託費支出	411,040	64,800	346,240
雑費支出	569,683	472,948	96,735
事業活動支出計	13,110,251	13,828,157	▲ 717,906
事業活動収支差額	▲ 404,251	169,963	▲ 2,300
II 投資活動収支の部			
1.投資活動収入	0	0	0
2.投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1.財務活動収入	0	0	0
2.財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
他会計振替額	0	0	0
当期収支差額	▲ 404,251	169,963	▲ 574,214
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	▲ 404,251	169,963	▲ 574,214

収支計算内訳書
平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業会計					その他の事業会計					法人会計	内部取引消去	合計
	青少年育成事業	ひとづくり事業	まちづくり事業	共通	小計	会員啓発事業	会員拡大事業	障害他団体連携事業	共通	小計			
I 事業活動収支の部													
1.事業活動収入													
基本財産運用収入													
基本財産受取利息収入				1,585	1,089					0			1,589
特定資産運用収入													
受取入金収入				162,000	162,000					0	378,000		540,000
受取会費収入													
正会員会費収入	399,925	396,697	3,171,930	344,683	4,313,235	541,309	157,890	505,870	316,765	1,591,804	2,744,981		8,580,000
新入会員受取会費収入				324,000	324,000			80,000		80,000	878,000		1,080,000
特別会員受取会費収入				48,000	48,000					0	112,000		160,000
賛助会員受取会費収入					0					0	0		0
準会員受取会費収入					0					0	0		0
特別受取会費収入			40,000	355,500	395,500			345,866		345,866	428,634		1,170,000
事業収入													
登録料収入	253,000	16,500	151,500		421,000								421,000
販売収入			160,150		160,150								160,150
広告料収入					0								0
雑収入					0								0
受取補助金等収入													
地方公共団体補助金収入			1,628,172		1,628,172					0			1,628,172
民間補助金収入					0					0			0
受取員会費収入			10,000		10,000			43,848		43,848	53,948		53,948
受取員会費収入					0					0			0
受取員会費収入					0					0			0
受取寄付金収入					0					0			0
受取寄付金収入			70,000		70,000					0			70,000
雑収入													
受取利息収入				1,574	1,574								1,574
その他雑収入					0	74,500	30,000	20,000		124,500	7,211		131,811
事業活動収入計	652,925	413,197	5,231,752	1,237,322	7,535,106	615,809	187,890	995,584	316,765	2,116,018	4,346,808	0	13,968,120
2.事業活動支出													
事業費支出													
総与手当支出				305,944	305,944				101,981	101,981			407,925
返還給付費支出					0					0			0
福利厚生費支出					0					0			0
会議費支出					0					0			0
旅費交通費支出					308,016					0			403,138
減価償却費支出	146,016	28,000	132,420	89,464	395,900	39,467	27,500	69,120	28,820	60,820	294,311		1,503,482
消耗什器備品費支出	87,264	350	2,033,161		2,120,775	376,084	42,750	10,000		429,844	2,549,819		2,549,819
消耗品費支出	51,737	100,180	18,531		170,448					0			170,448
修繕費支出					0					0			0
印刷製本費支出	66,120	82,080	880,258		1,011,458	5,000	25,000	6,000		36,000	1,047,458		1,047,458
燃料費支出					0					0			0
光熱水料費支出	2,000	3,640	15,200		20,840					0			20,840
賃借料支出	203,400	31,590	348,090	554,894	1,137,974	52,490	75,590	52,464	184,964	365,008	25,390		74,033
保険料支出	40,000	3,003	6,670		51,673	22,560				22,560	140,525		140,525
謝礼金支出	3,456	135,130	428,680		567,266		15,400			16,400	582,686		582,686
租税公課支出				800	1,000					0	1,000		1,000
支払基金費支出		200			0					0			0
JCI会費支出					87,020					0			87,020
JCI会費新人会員分支出					23,940					0			23,940
国際協力費支出					140,525					0			140,525
国際協力費新人会員分支出					34,675					0			34,675
支払助成金支出					0					0			0
支払寄付金支出					0					0			0
委託費支出	15,504	18,144	830,996		854,644	61,560	1,620	858,000		919,180	892,556		1,416,720
管理費支出													
総与手当支出											101,981		101,981
返還給付費支出											0		0
福利厚生費支出											0		0
会議費支出											45,900		45,900
旅費交通費支出											28,000		28,000
減価償却費支出											388,898		388,898
消耗什器備品費支出											0		0
消耗品費支出											367,463		367,463
修繕費支出											113,024		113,024
印刷製本費支出											356,440		356,440
燃料費支出											0		0
光熱水料費支出											250,844		250,844
賃借料支出											0		0
保険料支出											250,844		250,844
謝礼金支出											378,000		378,000
租税公課支出											27,700		27,700
支払基金費支出											0		0
日本JC基本経費支出											60,000		60,000
日本JC会費支出											385,000		385,000
日本JC会費新人会員分支出											47,500		47,500
地区協議会基本経費支出											5,000		5,000
地区協議会会費支出											115,500		115,500
地区協議会会費新人会員分支出											-		0
ブロック協議会基本経費支出											10,000		10,000
ブロック協議会会費支出											385,000		385,000
ブロック協議会会費新人会員分支出											-		0
全国域下町連絡協議会会費支出											10,000		10,000
WEI (EBC)に属経費支出											-		0
日本JC出向者会費支出											60,000		60,000
地区協議会出向者会費支出											254,750		254,750
ブロック協議会出向者会費支出											10,000		10,000
ブロック大会運営費支出											231,000		231,000
支払基金費支出											0		0
委託費支出											64,800		64,800
雑費支出											472,848		472,848
事業活動支出計	652,925	413,197	5,231,752	1,248,462	7,544,336	615,809	187,890	995,584	316,765	2,116,018	4,167,803	0	13,828,157
事業活動収支差額	0	0	0	▲ 9,140	▲ 9,140	0	0	0	0	0	178,103	0	169,963
II 投資活動収支の部													
1.投資活動収入													
2.投資活動支出													
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部													
1.財務活動収入													
2.財務活動支出													
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出													
他会計振替額													
当期収支差額	0	0	0	▲ 9,140	▲ 9,140	0	0	0	0	0	178,103	0	169,963
前期繰越収支差額													
次期繰越収支差額	0	0	0	▲ 9,140	▲ 9,140	0	0	0	0	0	178,103	0	169,963

財 産 目 録
平成27年12月31日現在

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	46, 874
	預金	決済用預金 決済用預金	財政基盤安定資金(一般) 財政基盤安定資金(一般・委員会用)	1, 597, 976 3, 219, 316
流動資産合計				4, 864, 166
(固定資産)				
基本財産	基本財産	決済用預金 手元現金	公益事業の積立資産であり、資産取得 資金として管理されている預金	5, 000, 000 8, 816
特定資産				
その他				
固定資産合計				5, 008, 816
資産合計				9, 872, 982
(流動負債)				
	未払金			0
	短期借入金		運転資金	0
流動負債合計				0
(固定負債)				
	長期借入金			0
固定負債合計				0
負債合計				0
正味財産				9, 872, 982

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- (4) 引当金の計上基準
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
- (6) 消費税等の会計処理

3. 会計方針の変更

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
基本財産 基本財産	5,007,251	1,565	0	5,008,816
小 計	5,007,251	1,565	0	5,008,816
特定資産 退職給付引当資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	5,007,251	1,565	0	5,008,816

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産	5,008,816	0	0	0
小 計	5,008,816	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産				
〇〇積立資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	5,008,816	0	0	0

(記載上の留意事項)

基金からの充当額がある場合には、財源の内訳として記載するものとする。

6. 担保に供している資産

(資産) 円(帳簿価格)は、長期借入金 円の担保に供している。

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高
(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建 物			
合 計	0	0	0

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金			
合 計	0	0	0

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
に対する保証債務は、 円である。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
国 債 〇〇株式会社社債			
合 計	0	0	0

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加高	当期 減少高	当期末 残高	貸借対照表 上の 記載区分
補助金						指定正味財産 流動負債
助成金						
合 計	0	0	0	0	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末 合計	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高
基金 〇〇基金				
基金計				
代替基金 〇〇基金				
橙基金合計				
合 計	0	0	0	0

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属 性	法人等の名称	住所	資産総額 (単位:円)	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (単位:円)	科目	期末残高 (単位:円)
						役員の兼務等	事業上の関係				

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末				当期末			
現金預金勘定		× × 円		現金預金勘定		× × 円	
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	—	× × 円		預入期間が3ヶ月を超える定期預金	—	× × 円	
現金及び現金同等物		× × 円		現金及び現金同等物		× × 円	

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。

前期末	当期末
現物により寄付を受けた固定資産が × × × 円ある。	現物により寄付を受けた固定資産が × × × 円ある。

16. 重要な後発事象

17. その他

1. 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	基本財産	5,007,251	1,565	0	5,008,816
	基本財産計	5,007,251	1,565	0	5,008,816
特定資産					
	特定資産計				

記載上の留意事項

- ・基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしている場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。
- ・重要な増減がある場合には、その理由、資産の種類の具体的な内容及び金額の脚注をするものとする。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金					

記載上の留意事項

- ・期首又は期末のいずれかに残高がある場合にのみ作成する。
- ・当期増加額と当期減少額は相殺せずに、それぞれ総額で記載する。
- ・「当期減少額」欄のうち、「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、その理由を脚注する。
- ・引当金について、財務諸表の注記において記載している場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。

備品目録

平成 27 年 12 月 31 日現在

米沢 J C ルーム

番号	物品名	在庫数	購入時期	備考
1	例会用鐘	1	S 3 8. 0 2	
2	折りたたみ椅子	9	S 5 6. 0 1	
3	耐火金庫	2	S 5 6. 0 4	正常 1 台 破損 1 台
4	C D ラジカセ	1	H 1 2. 1 2	
5	メガホン	3	H 1 2. 1 2	
6	パイプ棚	1	H 1 5. 0 6	
7	電話機	1	H 1 6. 1 2	
8	法被	7 7	H 1 7. 0 7	うち 理事長用 1 着
9	パソコン	1	H 1 7. 1 2	
1 0	OMO I Y A R I のぼり	2	H 2 6. 0 6	山形ブロックより
1 1	ボイスレコーダー	1	H 2 0. 0 1	
1 2	J C パネル一式	1	H 2 0. 0 6	国旗・J C 旗のパネルボード
1 3	プロジェクター一式	1	H 2 1. 1 2	
1 4	延長コード	多数	不明	
1 5	シュレッダー	1	不明	東海 J C より
1 6	パソコン	1	H 2 2. 1 2	
1 7	2 3 インチディスプレイ	1	H 2 2. 1 2	
1 8	外付 HDD(N A S)	1	H 2 2. 1 2	
1 9	のぼり	2 0	H 2 3. 1 1	山形・東海・上越 J C より
2 0	のぼり旗用の棒	1 4	H 2 3. 1 1	山形・東海・上越 J C より
2 1	無線用ルーター	1	H 2 3. 1 2	
2 2	折りたたみ椅子(黒)	3	H 2 4. 0 1	第 5 1 代理事長より
2 3	台車	1	H 2 4. 0 1	第 5 1 代理事長より
2 4	レーザープリンター	1	H 2 5. 1 2	東海 J C より
2 5	J C パネル	1	H 2 5. 1 2	H 2 5 年卒業生一同より

米沢 J C 倉庫 備品リスト

写真・資料	6 2 箱	ドラム缶	2 個
炭	3 箱	水タンク	4 個
紙コップ・皿	1 箱	寸胴 大	1 つ
寸胴 小	1 つ	鍋	4 つ
ザル	8 つ	プラスチック桶	1 2 個
寝袋	1 個	スチール灰皿	1 5 0 個
包丁	1 ケース	はんごう (1 8 個)	2 ケース
ライフジャケット (2 3 着)	2 箱	バーベキューコンロ	2 個
七輪	4 個	勝ち刀	1 ふり
旗たて	1 セット	カッティングマット	4 枚
折りたたみ椅子	2 7 脚	木燈籠	4 9 脚
土台の木枠	6 個	例会看板	2 枚
テーブル	8 台	ブルーシート	8 枚
パイプ椅子	1 2 脚	レッドカーペット	5 枚
野球ボール (硬球)	1 3 2 個	野球ボール (軟球)	3 個
ソフトボール	5 個	ござ	9 枚
松明 大	2 本	松明 小	2 0 本
ストラックアウト 枠	1 台	ストラックアウト 的	1 セット
シャベル	2 0 本	スノコ	2 枚
キャンプテーブル	1 台	ポール	4 0 本
チャッカマン	8 本	ローソク 5 0 個入り	8 箱
画鋏	1 0 0 0 本	クレヨン 1 2 色	5 箱
雪ぼんぼり作成バケツ	1 2 個	焚き火用ペール缶	5 個
雪切り包丁	3 本	水汲みバケツ	1 4 個
軍手	4 6 0 組	ごみ袋 7 0 ℓ 1 0 枚入り	1 7 個

決算報告書

以上の通り、2015年度収支決算をご報告申し上げます。

2016年1月4日

公益社団法人米沢青年会議所

2015年度 財政局長

酒井 仁



公益社団法人米沢青年会議所

2015年度 財政局次長

細川 敬一



公益社団法人米沢青年会議所

2015年度 理事長

平田 博之 殿

監査意見書

2015年度収支決算を監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

2016年1月4日

公益社団法人米沢青年会議所

2015年度 監事

川島 良範



中村 智和





2015年度

(平成27年度)

アニュアルレポート

《2015年度スローガン》

米沢JCスローガン

本気でおもしろいごと！！～一期一会の精神で果敢に挑戦～

日本JCスローガン

美しく先駆けよう！ すべては未来を生きる人のために

東北地区協議会スローガン

夢と希望溢れる輝く東北の実現

山形ブロック協議会スローガン

夢と希望に満ち溢れる「やまがた」の実現

公益社団法人 米沢青年会議所

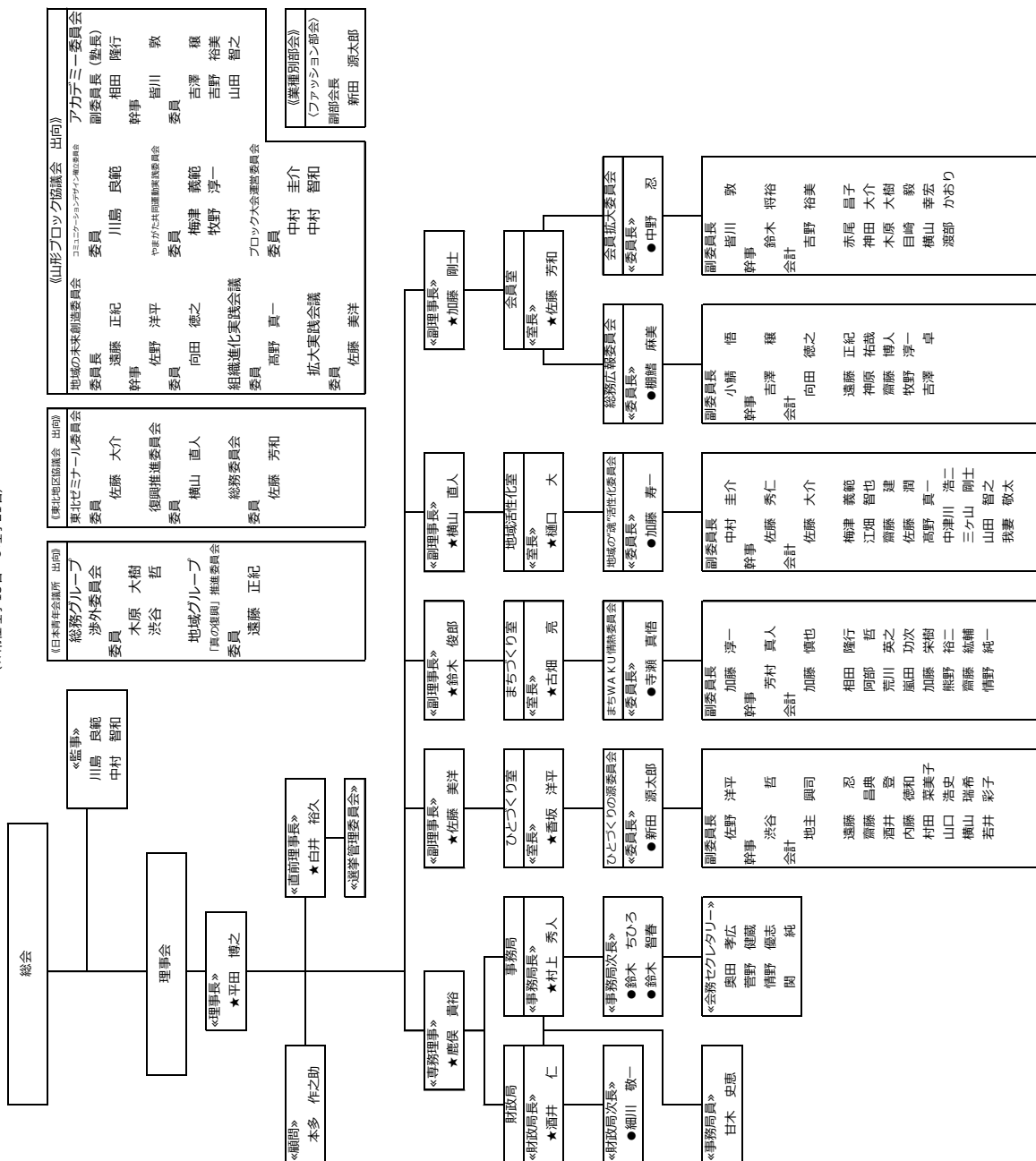
自 2015年 1月 1日

至 2015年 12月 31日

(2015年1月5日現在)

(会員数79名)

(★常任理事13名 ●理事21名)



2015年度会員動向

・卒業者

相田 隆行
奥田 孝広
川島 良範
佐藤 潤
白井 裕久
関 純
中野 忍
山口 浩史

・新入会員

関 義人
縮 将史
仁科 文人
増村 泰人
丸田 晶子
村山 順一
谷中 拓也
山田 敬之
渡邊 孝浩

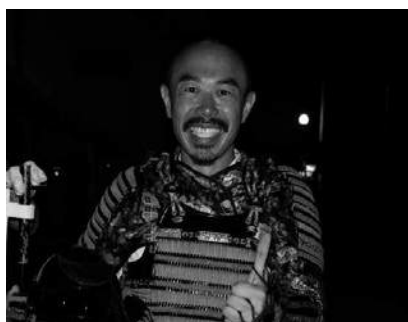
・新入会員

相田 泰則
石附 和生
井上 勝寛
遠藤 勲
遠藤 一生
遠藤 宏樹
小形 憲治
草刈 清孝
小島 一

・退会会員

赤尾 昌子
加藤 慎也
目崎 毅
山田 智之
吉澤 卓

～2015 年度 卒業生紹介～



相田 隆行 (平成 21 年入会)

奥田 孝広 (平成 26 年入会)

川島 良範 (平成 15 年入会)

佐藤 潤 (平成 21 年入会)

白井 裕久 (平成 17 年入会)

関 純 (平成 26 年入会)

中野 忍 (平成 25 年入会)

山口 浩史 (平成 25 年入会)

2015 年 1 月 事業報告

委員会名：総務広報委員会

担当者：委員長 棚緒 麻美

1. 例会の概要

「公益社団法人 米沢青年会議所 第 107 回通常総会（定時総会）」

開催時期：平成 27 年 1 月 19 日

開催場所：グランドホクヨウ（山形県米沢市）

2. 参加者

正会員 89 名中 / 出席者数 40 名（44.9%）

※委任状による出席者 49 名（100%）

3. 例会に対するコメント

- ・シナリオ準備段階から細かな動きも予測して進めていた為、スムーズに運営できたと思います。
- ・議長は卒業生で理事者経験者、という通例を意識して準備していましたが、当日の本人の出欠状況などで決定するのが遅くなってしまいました。
- ・皆様のご協力により前年度のメンバー全員の承認を得、委任状 100% を達成する事が出来ました。その中で、しっかりとした総会を行えた事は今年度の活動に大きな意味を持ち、おもしろい米沢市・川西町の創造に繋がっていくと思います。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・議長の選出とお願いは早めに動いて、候補者を他にも検討しておくといいと思います。
- ・委任状の回収に各委員長のご協力の下、委員会ごとに取りまとめをして頂きました。総務だけで動くのは行き届かない部分もあると思いますので、またこのような方法を検討して頂ければ良いかと思います。
- ・今年度は当初予定していた開催時間よりスムーズな進行により 30 分早く終了した為、会場費が大幅に変更になりました。タイムスケジュールなどをしっかり確認して、計画した時間で終了出来るようにしてください。



2015 年 2 月第一例会 事業報告

委員会名:事務局

担当者:事務局長 村上秀人

1. 例会の概要

2 月第一例会「山形ブロック協議会 第 4 エリア 2015 年度ブロック会長公式訪問」

開催時期:平成 26 年 2 月 9 日

開催場所:東京第一ホテル米沢 (米沢市中央 1-13-3)

2. 参加者

正会員 79 名中 出席者数 40 名 (50.6%)

3. 例会に対するコメント

小野寺正人会長をはじめとする山形ブロック協議会役員の皆様より、2015 年度の日本青年会議所本会及び山形ブロック協議会の方向性や事業内容についてわかりやすく説明していただいたことで、参加した米沢 JC メンバーは、それを理解し共有することができました。

しかしながら半数近くのメンバーは不参加でしたので、今後参加者が得たことを伝え、実際に事業に参加していただくことや、HP や SNS を通じての情報収集、例会セレモニー等における出向者からの近況報告などによって LOM メンバー全員の理解に繋げることで、LOM 事業の展開に繋がっていきます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・不参加で出欠の返信があっても、再度参加を呼びかけることで参加になるケースがありました。連絡のつかないメンバーに対しては、所属委員会やスポンサーを通じ連絡をとって下さい。

- ・多くのメンバーに参加していただくことが一番のポイントです。ブロックや開催地 LOM と早めに密に連絡をとりながら計画を進めたほうが良いです。例年ブロックからの案内配信は遅く、それを待っていては参加推進に繋がりませんので、LOM 独自に例会案内文を作成し早めに配信できるようにして下さい。

- ・予算については、各 LOM から支出が必要でそれを均等割する場合に予備費も含めるのか等、後で揉めないように他の LOM と協議の上決めて下さい。



2015 年 2 月第二例会 事業報告

委員会名：まちWAKU情熱委員会

担当者：委員長 寺瀬真悟

1. 例会の概要

- ・開催日時：平成27年2月14日、15日
- ・開催場所・内容：おまつり広場（光の迷路・チョコフォンデュ体験・不思議めがねの販売・雪上ストラックアウト・プロジェクションマッピング）、松が岬第2公園（小学生絵画による木灯籠展示）

2. 参加者

例会参加人数 正会員79名中 参加人数54名（68.4%）

来場者数 14日（土）約1486人 15日（日）約825人

3. 例会に対するコメント

今年度はメインを光の迷路でおこないました。ですが、夜がメインとなる設えにしましたので、ストラックアウトを盛り込み、日中も来場客に楽しんでもらう設えにしました。14日・15日の2日間とも天候が悪く心配はありましたが、夕方から夜は多くの来場者に足を運んでもらい、思い出に残る心温まる事業が出来たと感じています。準備期間が短くとても不安でしたが、多くのメンバーの皆様のご協力のおかげで事業を無事達成する事が出来ました。米沢の冬を代表する上杉雪灯籠まつりに、より多くの観光客・市民・町民に来場して頂き、思い出に残る心温まる事業を行うこと。そして、子供達に地域のおまつりへの興味と関心を深めてもらうことを目的として事業をおこないました。結果として、会場には多くの方々に足を運んでいただき、メインの「光の迷路」・「チョコフォンデュ体験」では親子、友人、恋人同士が記念撮影をしている姿を多く目にしました。アンケート聞き取りでも、面白かった、キレイだったと言う意見も多数いただき、思い出に残るような心温まる事業がおこなえました。子供向けアトラクションの雪上ストラックアウトを行う事や、市内小学校の児童に「私・僕の夢」というテーマで絵画を出展してもらい作品を見に来場してもらう事、山形大学工学部の学生によるプロジェクションマッピングで学生の技術を披露する事で、地域のおまつりへの興味と関心を深めてもらえました。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・小学校への絵画依頼では児童の都合（病欠等）があるので、学校側と作成状況の連絡を早めにとって下さい。
なお、教育委員会から絵画依頼して頂く手法のほうが学校側には好ましいようです、検討して下さい。
- ・各団体との連絡が大変重要です、密にとって下さい。（各小学校・雪灯籠まつり実行委員会・我妻建設等）
- ・事業内容や来場予定者数を計画して、事前シミュレーションは出来る限り本番同様に行って下さい。
- ・真冬の2日間の野外例会です。備品は莫大な量になりますので、必ず担当者を設定し対応して下さい。また、当日の役割分担に責任を持ち、他メンバーへの引継ぎを明確にすること。
- ・参加者の導線上にこまめに融雪剤を蒔く等して、来場者の安全を確保して下さい。
- ・アンケートは聞き取り方式の方がスムーズに行えます。
- ・メインとして時間帯が限定的な設えを行う際は、それ以外の時間帯でも濃い内容の設えを検討して下さい。



2015 年 3 月 事業報告

委員会名：地域の“魂”活性化委員会

担当者：委員長 加藤寿一

1. 例会の概要

「スポーツを通じた元気と活力向上セミナー 水沼貴史氏と“夢”見っぺ・語っぺ」

開催時期：平成 26 年 3 月 20 日(金)

開催場所：伝国の杜 置賜文化ホール

2. 参加者

正会員 79 名中 出席者数 48 名 (60.7%)

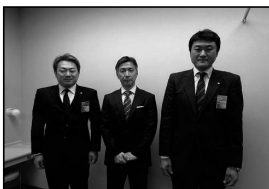
一般来場者 128 名

3. 例会に対するコメント

- ・「夢や希望を持っていますか」の問いに「はい」と答えた方が 92 名 (76.5%)、記入されたコメントの傾向を見ると今回のセミナーが来場者に与えた影響力は明確であります。特に、講師の話を自分に置き換え、振り返り、今自分がどうあるべきかを自問自答する方が多かったように思います。また、参加したメンバーからも同様の感想をいただきその効果を実感しました。
- ・「今後夢や希望にチャレンジできること」の問いに「今チャレンジしていること」よりステップアップした思いをコメントとして記載した方が多く、現状と未来の線上にいる今の自分の立ち位置を見つめ直し、何をすべきかを明確にされた来場者が多かったものと考えます。
- ・チームワークについては、時間の都合上クローズアップして取り上げることができませんでしたが、講師の話の端々にチームワークに関する経験談、考え方が織り交ぜられており、それを感じることができた来場者からは高評価を得られました。当然、その反面、分かりにくかった、つかめなかったという意見もあり、来場者の捉え方に差が生じてしまった点課題となりました。
- ・来場者の配席について前方から詰めるよう工夫し、また、ウォームアップ、講師の問いかけ等で参加者同士が触れ合う時間を多くとることができ、また、面識のない方同士が触れ合う場面も創り出すことができました。非常に効果的であったと考えます。しかしながら、来場者とメンバーが触れ合う機会までは創り出せず、さらなる工夫が必要でした。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・今回取り入れたウォームアップやコーディネーターの配置、来場者を前列よりぎっしり埋めるなどの設えは、他でも類を見ず来場者に目線をおいた画期的なものでした。今後も参照いただき、さらに新しいスタイルを確立していただきたいです。
- ・来場者の確保は講師例会を行う難しさそのものです。その講演会、セミナーの価値を一般市民にどう伝えるかはもちろんですが、メンバーの手売りによるチケット販売が主となったことから、メンバーへの周知徹底を図ることが来場者の確保に直結します。ハードな業務をこなす各委員長頼みでなく、メンバー一人一人にその価値をお伝えすることが大切で、根強い、泥臭い行動が確保に繋がるものと考えます。
- ・議案上での計画はあくまで計画で、当日起こる変化にいかに対応できるかが重要です。ベテランのメンバーは、それを把握し、対応するノウハウを兼ね備えているので、互いに連携を図りながら事業を進めていただきたいと考えます。
- ・講師依頼承諾書については、専務・事務局等と協議を重ねていただき契約に臨んで下さい。
- ・伝国の杜を使用する場合には、予算と時間的な制限が付き纏い、タイトなタイムスケジュールで準備を進めると、我々のみならず会場スタッフの方にも負担をお掛けしますので、事前の打ち合わせ、スタッフの方へのケアを怠ることなく対応下さい。



2015 年 4 月 事業報告

委員会名：会員拡大委員会

担当者：委員長 中野 忍

1. 例会の概要

「第 1 回仮会員セミナー」

開催時期：平成 26 年 4 月 10 日

開催場所：東京第一ホテル米沢 2 階ミュージックホール

2. 参加者

正会員 79 名中 出席者数 18 名(22.7%)

仮会員 出席者数 15 名

3. 例会に対するコメント

第 1 回仮会員セミナーは 2 回、3 回へ繋げるために非常に重要です。目標の 20 名に掲げましたが 5 名も及ばず残念な結果でありました。しかしながらメンバー皆様の協力のおかげで仮会員セミナーを無事開催することが出来ましたこと大変感謝しております。

第 1 回は事業計画段階から「仮会員目線でのセミナー」ということを重要視しました。バディー形式で仮会員とメンバーとの一体感を強調し、悪い意味での重厚感を出さないスタイルでの設えで、第 2 回、第 3 回のセミナー、そして入会へと繋げることを目標に臨んだ結果、非常に良い雰囲気的交流や懇親が深まり、中にはセミナー後早々に J C に入会すると決めた方もいました。また J C への理解者も拡大でき、今後に繋がる手応えを実感することが出来ました。第 1 回仮会員セミナーを通して、志の高い地域のリーダーやまちづくりの原動力となり得る人材の輩出につながったのでおもしろい米沢市・川西町の創造につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・受付は、仮会員用とメンバー用で分けた方がスムーズかつ仮会員が解りやすい。
- ・セミナー当日まで参加人数に変更が生じるため、席次をセッティングする場合は変更可能にしておく。
- ・セミナー案内を仮会員・メンバーに早めに案内し案内漏れの無いよう十分注意・確認する。
- ・議案上程は仮会員セミナーの案内するタイミングをしっかりと計画を立て、早めに行う。
- ・次年度の拡大活動のため、仮会員は会員募集要項を必ず記載してもらい、提出してもらうことを徹底し、委員会でしっかり管理をすること。
- ・講話形式にする場合は、タイムキーパーを置くとよい。
- ・アンケートや次回セミナー出欠等の回収する必要がある物は、回収方法を決めておくが良い。



2015 年 4 月 事業報告

委員会名：総務広報委員会

担当者：棚 緒 麻美 委員長

1. 例会の概要

4 月例会「YONEZAWA & WATARI JOY フェス」

開催時期：平成 26 年 4 月 18 日

開催場所：宮城県亶理町 佐藤記念体育館

2. 参加者

正会員 79 人中/出席者数 28 人 (35.4%)

3. 例会に対するコメント

過去のイベントの貴重な資料の提供、他団体との連携など亶理スタッフの方々の大きな協力があってこそ開催出来た事業でした。計画当初は、「復興支援、という言葉はもういい」というような現地の方の想いもある中で、どのようにしたら亶理の方々のこれからの元気のお手伝いになるか、私達の気持ちを伝えられるかを亶理スタッフとのやり取りの中で少しずつ形にしていっていった事業でした。実施上の心配もありましたが当日は予想を上回る賑わいでメンバーも亶理の方々と多く触れ合って下さり、笑顔があふれ、来場者からもスタッフからの声も大変嬉しいものでした。また、生きていく上で身近な人との何気ない会話や触れ合いが、こんなにも大切なものなのだと改めて教えて頂きました。コミュニティの大切さと併せ、自立し前を向いていかなければという亶理の皆様の強い心を感じた事業でもありました。

まだまだ厳しい地域は多く存在します。被災地を忘れない、私達にもこうやって必ず何か出来る事はあると感じられた事は、おもしろい米沢市・川西町の創造に必ず繋がると思います。このきっかけを更に繋いでいけるように私達も努力しなければいけません。

4. 次年度への引継ぎ事項

現地へは早い段階からお邪魔して、各担当者・会場予約等含め打合せをしメンバーへの案内も早めにして下さい。秋に産業祭が開催されるとのことでしたので、他イベントの兼ね合いも考慮して下さい。

今回は出店者・出演者が少なかったこともあり、募集を当日ギリギリまで受け入れておりましたが、状況によっては募集締切日を厳守していいと思います。その後の連絡やスケジュール確認をスムーズにできると思います。飲酒する方が少ないので酒類の準備量・単価は抑えた方がいいと思います。



2015 年 5 月 事業報告

委員会名： ひとづくりの源

担当者：委員長 新田源太郎

1. 例会の概要

「 五感と心で新たな出会い 」

開催時期：平成27年 5月 17日

開催場所：米沢市勤労者福祉センター（アクティー米沢）

2. 参加者

例会名 「五感と心で新たな出会い」

～むかしのあそび探検隊～ ～親子で飛ばそう竹トンボ～

正会員 79名中 出席者数 40名(50. 6 %)

一般参加来場者 保護者107名 子供142名（未就学児童～小学6年生まで）

★特別授業講師：藤沼 昇氏（重要無形文化財保持者）

竹トンボ参加者 保護者27名 子供33名 （小学3年～6年生まで 定員30名予定より）

3. 例会に対するコメント

子供たちに遊びを通して創造性や社会的な道徳心を育ませる事が必要と感じ、「むかしの遊び探検隊」と称して、紙飛行機づくりや割箸鉄砲等、身近なものでおもちゃを作る内容を盛り込み実施しました。参加者を小学生のみならず、未就学児童を対象とし、多くの方々に体験して頂きました。笑顔が溢れ楽しんでいる児童と保護者が印象的でした。そして、特別授業として藤沼昇氏にご協力を依頼し、「親子で飛ばそう竹トンボ」と題し、小学3～6年生の参加登録児童と保護者が「竹トンボ作り」を各自行いました。保護者から「自分の方が真剣になっていた」「一流の方に目の前で技術を学び自分自身が思い出になった」「初めてナイフを持たせたがきちんと学べたようなので今後も使わせたい」など年齢問わず特別な体験が出来たと思います。五感の中での味覚として「竹の子味噌汁」を振舞いました。家族内でのコミュニケーションの場も設けたことで思い出が深まり、尚一層の親子愛や信頼関係が再構築され道徳心が育まれたと感じました。本事業を通して、むかし遊び、直接体験が達成感や向上心を育み、思い出が参加者にとってこれからの成長に寄与出来たと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項。

- ・すべてにおいて計画を立案し、早めに遂行すること。
- ・対内対外アンケートをする場合には、受渡しのタイミングを明確すること。
- ・事業にて対外後援等を頂く場合等は、いち早く準備し、確定提出すること。
- ・対外参加者が重要と考えること。
- ・事前にLOMメンバーに周知・協力を仰ぐ、公開委員会等を開催すること。
- ・対内用タイムスケジュールをなるべく正確に作成し、メンバーを割り当てる。
- ・メンバーが参加者と積極的に交流を行なえるように事業内容を構築すること。



2015 年 5 月 事業報告

委員会名：会員拡大委員会

担当者：委員長 中野 忍

1. 例会の概要

「第2回仮会員セミナー」※日本青年会議所公認プログラムセミナー「COMCOM」

開催時期：平成27年5月29日

開催場所：招湯苑

2. 参加者

正会員 79名中 出席者数 30名(37.9%)

仮会員 出席者数 13名

3. 例会に対するコメント

第2回仮会員セミナーは次回最後の第3回仮会員セミナーの参加及び入会へ繋げる非常に重要な場面であるという認識で臨みました。しかし仮会員参加者は13名と目標の25名に大きく届かず、第1回よりも参加者が2名減少してしまい、その部分については反省すべき結果でありました。事業の内容としてはヘッドトレーナーの富田千鶴さんの明るく、ハキハキとした人柄と全員参加型のセミナーで、非常に良い雰囲気の中、自然な仮会員との交流が生まれ、仮会員のJCへの関心を引き付けたのではないかと感じました。また日本JC公認プログラムセミナーが今後、仮会員セミナーやメンバー資質向上セミナーなど、様々な場面で活用できる内容だと認識できたのは非常に大きな収穫となりました。

今年度会員拡大委員会で要視している「仮会員目線でのセミナー」により仮会員と現メンバーとの交流や懇親が深まり、新たにJCに入会意欲を示す仮会員もいたので、「会員拡大」に効果のある事業となりました。従って今後志の高い地域のリーダーとなって、まちづくりの原動力となる青年の輩出に繋がったのでおもしろい米沢市・川西町の創造につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・仮会員同士の交流をはかる名刺交換や雑談が出来る控室のようなものと良い。
- ・会場によってはせっかくの事業の内容に支障をきたすので、早い段階で開催日時と会場の検討を行い、会場の予約をとる。
- ・仮会員の出席者紹介で会社名と氏名を読み上げたことが、仮会員のアンケートに個人情報を開示することに若干1名の不満の意見があったので今後検討する。
- ・メンバーの参加率をあげる工夫をする。



2015 年 6 月 第一例会 事業報告

委員会名：まちWAKU情熱委員会

担当者：委員長 寺瀬真悟

1. 例会の概要

米沢・川西「D」プロジェクト 創作DANGOコンテスト

開催時期：平成 26 年 6 月 13 日（土）開催場所：すこやかセンター調理実習室並びに松が岬第二公園

2. 参加者

例会名 正会員 79 名中 出席者数 32 名 ※来場者 約 500 名

3. 例会に対するコメント

時期的にも天候が心配されましたが、1 日晴天に恵まれ開催する事が出来て良かったと思います。

すこやかセンターで調理を行い、松が岬第二公園でふるまいをするという変則的な例会となってしまったため途中で場所を移動せざるを得ず、参加者の皆様には御不便をお掛けしたかと思います。その中でもメンバーの皆様には多大なる御協力をいただきまして無事閉会することができました。

この事業を通して地域住民と共にまちを想い、新たな地域の魅力を発見出来、地域住民の方々や県内外の方々に発信出来たと感じております。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・ 1 から始める事業になりますので、上程スケジュールに余裕を持って、バタバタならないように余裕を持って上程してください。
- ・ 参加者募集の必要がある場合、募集要項を早めに審議していただき、募集期間を長めに設定することと、幅広く募集するようにください。
- ・ 投票券とアンケートを 1 枚の用紙でおこないました。そのおかげでアンケートの回収率が高かったです。相乗効果を狙った方法も良いと思いますので検討してください。
- ・ 会場設営の際、テント設営等の準備が多い時は、前日準備もメンバーに案内して手伝いをお願いできるようにすると良いです。
- ・ 長テーブルやパイプイスを北部コミセン・北部小よりお借りしてきました。色々あためてみると貸してくれる所はあると思います。
- ・ チラシ配布の際、ターゲット（幼・小・中・高）を絞り全生徒・全園児に行き渡るように工夫するとより効果的です。
- ・ 今回は私達の力不足でメンバーの出席率が低かったです。例会参加率を上げるために、委員会メンバー一丸となって声掛けをおこなってください。
- ・ タイムスケジュールは不測の事態を考え、数パターン用意し、入念なりハーサルを行うと安心です。
- ・ まちづくり事業は地域活性事業ととらわれがちなので、まちづくりの目的を伝えられるような内容も盛り込めるよう心がけてください。



2015 年 6 月 第二例会 事業報告

委員会名：事務局

担当者：村上秀人

1. 例会の概要

6 月第二例会ふるさと OMO I Y A R I プロジェクト 2 0 1 5

開催時期：平成 27 年 6 月 21 日（日）

開催場所：米沢会場（松川河川敷及びその周辺）・川西会場（やまがた川西ダリア園周辺）

2. 参加者

正会員 現地参加者 42 名 (53%) 仮会員 0 人

一般参加者 米沢会場 109 名 川西会場 40 名 会場外参加者 36 名

3. 例会に対するコメント

2008 年より今年で 8 回目を迎える「OMO I Y A R I プロジェクト」は、県内メンバー全員が一体感を持って行う協働運動として続いており、昨年より市町民憲章唱和を取り入れたことで、さらに県民一人ひとりが、改めて住み暮らすまちのことを想い続ける意識の変革にも寄与できたのではないかと思います。今年は、初めて川西会場での開催も試み、川西町民にも知って頂きたい機会になりました。今回は、搜索範囲の広さに対し収集したゴミの量が少なく、今までのこの継続活動が少しずつ実を結び始め、故郷を思いやる郷土愛の醸成が出来つつあるのではないかと感じております。おもいやりとは、親切な気持ち、相手を慮る気遣いの心です。美化活動を行なうことで郷土愛への関心を深め、また、憲章唱和により市民憲章及び町民憲章を身近に感じて頂き、自分たちの住み暮らすまちを、未来に向けて今よりもっと良くしようと想う、地域発展への意識変革を我々が率先していき、さらに多くの市民町民の方々に繋がるよう努力しなければなりません。

4. 次年度への引継ぎ事項

毎年少しずつ参加者が増えていますが、より一層の参加団体の新規開拓を行ない、さらなる OMO I Y A R I の輪を広げて頂きたい。そして、この事業は大人の方のもとより、将来を担う小さいお子さんに多く参加して頂き、この活動を通して学んだことを、その子が大人になりまたその子の子どもへと将来に向かう郷土愛の精神を継承していくことを望み、小中高に重点をおいた事業活動を行なって頂きたい。



2015 年 6 月 事業報告

委員会名:事務局

担当者:事務局長 村上秀人

1. 例会の概要

第48回山形ブロック大会むらやま大会 地域活性化からいち in むらやま

開催時期:平成26年6月28日

開催場所:東沢バラ公園 野外音楽堂広場 〒995-0025 村山市楯岡東沢1-25

2. 参加者

正会員79名中 出席者数32名(40.5%)

3. 例会に対するコメント

紅花染めにこだわり米沢の地で四代に渡りものづくりに励む(株)新田様より紅花染め体験及び米織小物販売を行っていただきました。米沢JCメンバーは呼び込み、小物販売のお手伝いを行いました。

6月第一例会 米沢・川西「D」プロジェクト 創作DANGOコンテストでグランプリに輝いた、酒粕味噌だんごのふるまいも並行して行いました。

多くの来場者に米沢の地で受け継がれてきた独自性の高い伝統・産品・技術を多くの皆様に体験し、知っていただくとともに、我々米沢JCメンバー自身も、県内各地域が持つ「地域のたから」に触れ、多くの学びを得ることができました。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・バス移動の場合でも、自走のメンバーと連携し車で流動的に動けるようにしてください。
- ・ブース出展は、有料のものだけでなく無料のふるまいやパネル展示を組み合わせで行うなど、地域の魅力を広く発信するための工夫をして下さい。
- ・ブース出展を他の組織・団体に依頼する場合でも、任せきりにせず一緒に事前打ち合わせ及びシミュレーションを行って下さい。|



2015 年 6 月第三例会 事業報告

委員会名:事務局

担当者:事務局長 村上秀人

1. 例会の概要

6 月第三例会 第 48 回山形ブロック大会むらやま大会

開催時期:平成 26 年 6 月 28 日

開催場所:

①村山市民会館 「大ホール」「大会議室」(大会式典／メインフォーラム／分科会)

〒995-0024 山形県村山市楯岡笛田 2 丁目 6-1

②東沢バラ公園 「野外音楽堂」「広場」(たからいち／フォーラムⅡ／分科会／大懇親会)

〒995-0025 村山市楯岡東沢 1-25

2. 参加者

正会員 79 名中 出席者数 36 名 (45.6%)

3. 例会に対するコメント

メインフォーラムにおいては、東日本大震災からの学びをこれからの生活にどう活かしていくか、あの時の記憶を風化させないために防災や減災に一人一人が取り組んでいくことが必要であることを実感できました。

地域活性たからいちでは、伝統文化に触れ、自ら体験することのできるブースや地域のたからをより身近に感じる機会をもつことで、県内各地から訪れる JC メンバーや県民の皆様と交流を深め、互いに刺激しあうことができたと考えます。

参加人数には満足できませんので、今後より多くのメンバーに参加していただけるよう、参加推進に力を入れていきます。

4. 次年度への引継ぎ事項

・駐車場の確認や昼食の段取りなどにおいて事前確認が不十分でしたので、事前確認を入念に行ってください。

・バス移動の場合、小回りがきく車もあると便利です。担当委員会（事務局）で用意できない場合は、他のメンバーにあらかじめお願いして下さい。



2015 年 7 月 事業報告

委員会名：会員拡大委員会

担当者：委員長 中野 忍

1. 例会の概要

「第3回仮会員セミナー」

開催時期：平成 27 年 7 月 3 日

開催場所：上杉神社 臨泉閣

2. 参加者

正会員 79 名中 出席者数 36 名(45.5%)

仮会員 出席者数 16 名

3. 例会に対するコメント

第3回仮会員セミナーは今年度最後のセミナーであり、何としても新規会員獲得しなければならないという委員会として集大成の場面でありました。参加者は正会員が79名中36名、仮会員は16名と議案上の目標数の30名と参加率が低く反省すべきところがありました。

事業の内容としてはセミナー講師として現役メンバーの本多作之助顧問による「**私たちの将来を見据えて青年期にやるべきこと**」をテーマとしてお話を頂きました。内容としては豊富なJCでの活動を通じての体験がどう自分に生かされ、どのように成長できるか、非常に具体的に仮会員の背中を強く押していただき、JC入会への決意に多大な貢献をして頂きました。

そして理事長面談において16名が入会となり、「会員拡大」に非常に意義のある事業となりました。従って今後志の高い地域のリーダーとなって、まちづくりの原動力となる青年の輩出に繋がったのでおもしろい米沢市・川西町の創造につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・理事長面談中の空き時間の活用法を考えてください。今年度は名刺交換をしながら、日本JCのHPに掲載の動画を見てもらいました。パソコン2台各控え室に設置したことにより、理事長面談前の空いた時間を無駄にせず有効に活用できました。
- ・入会申込書を書く際に、メールアドレスや連絡先に誤字、脱字があるとその後の連絡時に苦労するので、よく確認すること。
- ・入会決定の方は顔写真を撮影しておいた方がその後のバッチ贈呈式準備がスムーズに出来ます。
- ・セミナーから理事長面談に移行する際混乱するので実際の流れを入念にリハーサルしておく。
- ・講話が長引くことを想定してタイムスケジュールを作成すること。



2015 年 7 月 事業報告

委員会名：地域の“魂”活性化委員会

担当者：委員長 加藤 寿一

1. 例会の概要

「MUSIC FESTIVAL 2015

開催時期：平成 27 年 7 月 26 日（日）

開催場所：米沢市 松川河川敷

2. 参加者

正会員 79 出席者数 56 名（70.8%）

一般来場者 延べ 21000 人

3. 例会に対するコメント

MUSIC FESTIVAL 2015 は、米沢の四季のまつりの一角を担う事業であり、音楽を通じて人と人々を繋ぎ合わせ互いを成長させる機会として有効な事業であることから、将来的に地域住民のリーダーとなり得る人材を育成することを目的として開催しました。

事業当日の来場者は、同時開催の米沢商工会議所青年部主催 Y-1 グルメグランプリと合わせて延べ 21000 人に上り、第 6 回を迎えた本事業が地域へ定着してきているのは明らかであります。また、会員のみならず高校生・大学生・一般の方により組織した実行委員会メンバーが中心的に事業の構築に取り組むことで地域活性化の面から人材の育成を図ることができたという結果から目的達成に寄与できたものと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

米沢青年会議所の看板事業として将来を見据え、事業規模の拡大だけに目を奪われるのではなく、地域を担う若い世代が手を取り合って一つのもの創り上げるスタイルの確立、そして“自分達にしかできない、自分達だからできる事業”を目指し、全国各地で行われる地域活性化事業の模範となるようさらに磨きをかけていくべきと考えます。そして、その継続的な努力が「おもしろい米沢市・川西町の創造」に繋がるものと考えます。



（両主催者 JC と YEG）



（高校生バンドコンテスト）



（未来へつなぐメッセージ大合唱）

2015 年 7 月 事業報告

委員会名：会員拡大委員会

担当者：委員長 中野 忍

1. 例会の概要

「7 月第 2 例会 新入会員バッジ贈呈及び次年度理事長候補者挨拶

□開催時期：平成 27 年 7 月 29 日（金） □開催場所：伝国の杜 大会議室

2. 参加者

正会員 79 名中 出席者数 41 名（51.8%）

新入会員 18 名中 出席者数 17 名（94.4%）

3. 例会に対するコメント

今年度は最終的に 18 名の新入会員に入会していただき、理事長よりバッジと記念品を贈呈して頂きました。最後まであきらめない会員拡大を行ったことと何よりメンバーの一人一人のご協力の賜物であると考えます。会場については例年とは異なり若干狭いスペースで、ステージもない場所での開催でしたが、現役メンバー及び新入会員の参加人数を考慮すると丁度良いスペースで、全体の一体感を作り出すことが出来たと考えます。

また次年度理事長当選者挨拶では、次年度理事長として米沢 J C を牽引していく決意や気概を感じる素晴らしい挨拶をして頂き新入会員の今後の J C 活動への意識も研ぎ澄まされたものと考えます。

今年度全メンバーのご協力仰ぎ会員拡大を行ってきた結果として多くの仲間が加わり、米沢 J C が発展していくために志の高い地域のリーダーやまちづくりの原動力となる青年の輩出に繋がったのでおもしろい米沢市・川西町の創造につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・新入会員の前で初めて行うセレモニーなのでしっかりと練習やリハーサルを行うようにする。
- ・例会全体のリハーサルを念入りに行い、事務局・総務広報委員会も交えて、例会全体のリハーサルをし、スムーズな設えにする必要がある。そして、事務局・総務広報委員会・会員拡大委員会の担当をしっかりと割り振りをする。
- ・音響担当や花束贈呈など細部にわたり人員配置を決めておく必要がある。
- ・全員参加目標として新入会員に対しては早めに案内や紹介者からの声がけをし確認をとる。
- ・新入会員紹介のバッジ贈呈の時には、プロジェクターにて顔写真やプロフィールが必要なので早めに資料を集め内容も十分に精査する時間をとる必要がある。
- ・スケジュールがタイトになりやすいので入念にタイムスケジュールをチェックし進行すると良い。



2015 年 8 月 事業報告

委員会名： ひとつくりの源

担当者：委員長 新田源太郎

1. 例会の概要

「五感と心で新たな出会い」～どきどき！わくわく！サバイバルキャンプ2015～

開催時期：平成27年 8月 4、5日

開催場所：飯豊少年自然の家

2. 参加者

例会名 「五感と心で新たな出会い」

～どきどき！わくわく！サバイバルキャンプ2015～

正会員 97名中 出席者数 58名(59.8%)

一般参加来場者 子供64名(小学1年～6年生まで)

3. 例会に対するコメント

親元を離れ、身近な地元の施設を活用する事で安心感と郷土愛を育み、新たな友との出会いと実体験で成長する事を期待し、飯豊少年自然の家で行いました。晴天の中、64名の子供達が初めは、緊張の面持ちが時間経過と共に高学年は低学年を、低学年は素直に耳を傾けるようになり、班内一つに纏まりサバイバルキャンプに打ち込んでいました。大汗を掻きながら火起こし体験、野外炊飯、テント設営、身体を使い真剣に取り組んだことで、協調性や自立心、責任感を高めてもらう事につながり、感謝の念も育まれ、自ら「ありがとう」を伝え、言われることに喜びも感じたことでしょう。その事は、当たり前前の生活がいかに素晴らしいか「家族」の有難みを体感できたと思います。そして、キャンプの終了時は疲れた表情だけでなく、やり遂げた充実感と達成感、自信が溢れているように感じました。アンケートからも帰宅後、「チャレンジするようになった」や「素直になった」など保護者も成長を見て、「御礼」や「また参加させたい」というとても嬉しい報告を頂戴しました。

猛暑という事もあり、班長や協力して下さったメンバーの負担は大きいながらも率先垂範を示して下さり、大きな問題や怪我もなく無事終了する事ができ、子供たちに対する見えない心配りや声かけ、対応があったからこそだと思います。しかし、子供達に体験させることに重きを置いていたため、時間が足りなくなった場面がありましたが、時間の管理ではなく、子供達が自らの手で本気で体験することや取り組むことが重要と考えます。そのことは、チャレンジ精神や達成感が生まれ、達成する事が自信になり、自信が新たな挑戦を生み出ることになるのです。将来の地域の担い手が新たな経験や相手を慮る心を育んだことで「おもしろい米沢市・川西町の創造」につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・「応募期間を時間まで明記すること」
- ・「移動時間を考慮すること」
- ・「全参加者がネーム等を付けたほうが良い」
- ・「Face book を活用して保護者等に安心感を与えることが重要」



2015 年 9 月 事業報告

委員会名：総務広報委員会

担当者：委員長 棚緒麻美

1. 例会の概要

「第 108 回 通常総会 」

開催時期：平成 27 年 9 月 16 日

開催場所：グランドホクヨウ プロヴァンス

2. 参加者

例会名 正会員 97 名中 出席者数 50 名(51%)

※委任状出席者 47 名 (48%) ※委任状回収率 (100%)

3. 例会に対するコメント

9 月の定時総会は次年度理事者の承認という重要な審議がある為、メンバー全員の承認が不可欠です。出席率向上を目指し取り組みましたが、50%と出席率の向上には結びつきませんでした。ですが委任状は全メンバーより提出いただきましたので総会の運営に支障をきたすことはありませんでした。出席の場合でも急な事情での欠席の可能性もあるため委任状が必要だという認識はかなり浸透してきている様です。実際の運営面においてはセレモニーを含めリハーサルも細部まで確認し合いながら進められた事で、本番もそれぞれ責任をもち、特に大きな問題もなくスムーズに進める事ができました。出向者報告では本人に興味深い体験談を話してもらうことでメンバー内の意識向上に繋がりました。また、次年度理事者及び監事の承認もメンバー全員から得られ、次年度の新しい一歩を踏み出す準備が出来た事は、おもしろい米沢市・川西町を創造する事に繋がっていくと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・委任状回収は各委員会に取りまとめを協力して頂き、最終的な回収は総務で行って下さい。また、次年度理事者・監事の審議の承認をメンバー全員から得る為にも委任状は100%回収して下さい。
- ・参加率・委任状回収率向上の為に場所と日時の設定は早めに行い案内を流してください。
- ・セレモニーからリハーサルはしっかり行ってスムーズな進行ができるようにして下さい。
- ・出向者報告等、持ち時間を明確に確認して大幅な遅れが生じないようにお願いします。
- ・次年度理事者の審議がある為次年度理事予定者に必ず出席してもらう様にして下さい。



2015 年 9 月 事業報告

委員会名：事務局

担当者：委員長 村上秀人

1. 例会の概要

「9月例会 第64回全国大会東北八戸大会」

開催時期：平成27年9月25日(金)17:00～9月26日(土)

開催場所：八戸市公会堂・八戸市公民館・長根公園・八戸市内各所

2. 参加者

例会名 正会員 97名中 出席者数 13名(13%)

3. 例会に対するコメント

今年度は八戸の地にて、「住まう故郷を愛し、未来を生きる人のために美しく先駆ける」JAYCEEが、未来へ向けて夢や希望の抱くことのできる自立自活した地域へ再興し日本再興へと導く」という理念のもと、公益社団法人日本青年会議所の一年間の運動の集大成として、全国各地のJCメンバーが一堂に会し、時代ごとに抱える諸問題に取り組む意識の変革と醸成を共に共感することができました。また、卒業式の部では、今年度卒業される諸先輩方の、今までの功績と苦労を全国各地のJCメンバーと共に労うことができました。

我々米沢青年会議所は、副主管LOMとして協力し、震災から立ち直りつつある東北を全国にアピールするとともに「新・東北の3つの夢 完結」のために大会成功に導くことができました。そして、開催地である八戸市では、青年会議所という枠を超え、市民が人と人との繋がりを築きながら、愛するまちのために率先して取り組んだことでこの大会の成功に繋がりました。この「市民先導のまちづくり」を肌で感じたことで、おもしろい米沢市・川西町の創造につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

一年に一度の大会であり、全国のJCメンバーと交流を深めることができる貴重な機会であるので、卒業予定者は勿論のこと、より多くのメンバーに参加をして頂けるよう早めに計画、案内を行って下さい。



2015 年 10 月 事業報告

委員会名：事務局

担当者：事務局長 村上秀人

1. 例会の概要

「10月例会 置賜4JC合同例会」

開催時期：平成26年10月16日

開催場所：米沢ボウリングレーンズ（米沢市中央1-8-11 TEL/FAX：0238-23-2654）

2. 参加者

公益社団法人米沢青年会議所正会員 97 名中 出席者数 28 名 (28.9%)

公益社団法人長井青年会議所正会員 11 名

一般社団法人南陽青年会議所正会員 21 名

一般社団法人高畠青年会議所正会員 9 名 4LOM 計 69 名

3. 例会に対するコメント

置賜4JC合同例会の歴史の中で初めての試みとなる、ボウリングによるスポーツを通じた交流を実施しました。それによって、講師例会のような形式とは異なる和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めるとともに、新たな合同例会の形を創ることができました。

また、レクリエーションの要素が強い事業内容ながら、緊張感を持って例会セレモニーを行うことで、参加者が心をついにし、ここで築いた交流の輪を青年会議所運動の発展に繋げるという意識を持って例会に臨むことができました。

以上のことから、置賜の他の地域で活動するJCメンバーとの親睦を深め、関係を強固にすることで、「おもしろい米沢市・川西町の創造」につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・資料作成段階で確認を入念に行うとともに、リハーサルにおいても不備がないかどうかの確認を行って下さい。
- ・入念なシミュレーションに基づいてタイムスケジュールを作成するとともに、終了時間が早まっても対応可能なように準備を行って下さい。



2015 年 11 月 事業報告

委員会名：会員拡大委員会

担当者：委員長 中野 忍

1. 例会の概要

「 11 月第 1 例会 家族交流例会 スポーツレクリエーション 2015 」

□開催時期：平成 27 年 11 月 1 日（日） □開催場所：川西町交流館 屋内運動場

2. 参加者

正会員 97 名中 出席者数 50 名（51.8%）

新入会員 18 名中 出席者数 17 名（94.4%）

3. 例会に対するコメント

今年度はスポーツレクリエーションということで、メンバーのご家族も子供さんも個人のメンバーもとにかく全ての人が楽しく交流しながら一日を過ごしてほしいという思いを込めた家族交流会でした。しかしご家族の参加数やメンバーの参加数が計画よりも下回ったことについて非常に反省すべきところです。

今年度の家族例会は、昨年までのパーティー形式ではなく、全員参加型のレクリエーション形式にしたことで、4 チームの対抗戦でメンバーのご家族を含むチーム同士で競い合い、子供から大人、夫婦まで参加者同士が自然に交流することが出来ました。

また企画運営に関しては、新入会員で実行委員会を組織し会員拡大委員会と共同で事業の企画運営に参加をするという形式にしたことで、事業を通して新入会員は LOM の一員としての自覚が芽生え、事業の企画運営を体験により、新入会員の一人一人の成長や LOM の人財育成、LOM 基盤底上げに繋げることが出来ました。

この事業を通じて、新入会員が LOM メンバーとして仲間に加わり、そしてメンバーやメンバーのご家族との交流により、LOM の絆が一層深まったことで米沢 J C が団結力のある組織に発展したのでおもしろい米沢市・川西町の創造につながったと考えます。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・メンバーご家族を交えての例会なので、できるだけ多くのメンバーと御家族の参加率が上がるような周知活動を工夫する。
- ・新入会員を事業の企画運営に携わる機会を提供することで、J C 活動に参加しやすくするきっかけや、同期メンバー同士の絆を育む良い機会になるので工夫した巻き込み方を継続して行ってほしい。
- ・当日の準備物を事前に用意し、本番と同様に実際の流れを入念に必ずリハーサルを行うこと。
- ・参加する子供さんの年代にばらつきがあるので、開催時間やタイムスケジュール等に配慮しながらスケジュールを作成する。



2015 年 11 月 事業報告

委員会名：CM 大賞実行委員会

担当者：実行委員長 佐藤潤

1. 例会の概要

「第 16 回 山形ふるさと CM 大賞」米沢市共同制作事業

開催時期：平成 27 年 7 月 1 日～11 月 10 日（事業最終日：審査会）

開催場所：制作・撮影場所 米沢市内（小野川温泉足湯）

審査会会場 山形テルサ

2. 参加者

- ・制作、編集作業-CM 大賞実行委員会、米沢とんと昔の会、上杉小町、
小野川観光物産協会、米沢市秘書広報課、エルムアベ
- ・審査会-CM 大賞実行委員会、平田博之、加藤剛士、米沢とんと昔の会、
上杉小町、米沢市秘書広報課

3. 例会に対するコメント

経験者が少ない中、シナリオ作成から決定まで大変時間がかかったため、撮影、編集に時間を十分にとれなかった面もありますが、シナリオに時間をかけ、地域の魅力を十分に伝えられるよう工夫しました。魅力を音と映像で視聴者に伝えるためにはどうすればよいかを、実行委員全員で考えたことで、実行委員自身の地域に対する思いが深まりました。また、協力者の皆さんからもアドバイスを沢山いただきました。協力者の皆さんも地元の良さを伝えるために十分な準備をしてくださったことは、協力者の明さんの意識変革につながったと感じています。さらに、今まで関わり合いのなかった方々と協力することで、JC への理解も深まったことは、今後の活動にプラスになると考えます。大賞を獲得することで、米沢の魅力が県内外に発信されおもしろい米沢・川西の創造につながりました。

4. 次年度への引継ぎ事項

準備期間が短いので、早め早めに準備を進めてください・自分たちで撮影をする場合には、編集時のイメージを明確に行ってください。

- ・臨機応変な対応を求められますので、出演者と入念な打ち合わせをしてください。
- ・天候で、スケジュールが変わる可能性があるため、余裕を持ったスケジュールリングをしてください。



2015 年 11 月第二例会 事業報告

委員会名：まちWAKU情熱委員会

担当者：委員長 寺瀬真悟

1. 例会の概要

「米沢市長選挙公開討論会」

開催時期：平成 27 年 11 月 11 日（水）開催場所：置賜総合文化センター 1F ホール

2. 参加者

例会名 正会員 97 名中 出席者数 51 名 (52.5%) ※来場者 約 130 名

3. 例会に対するコメント

定員数 300 名の席に対して一般来場者数は約 130 名でした。メンバーと報道関係者併せても約 100 席の余裕がありました。今回は大学生に協力いただき、参加促進を図りましたが会場に足を運んでいただいたのは年配の方が大半を占めていました。模擬投票も人数が少なかったですが、今後の布石として意味ある内容だと感じています。2016 年 6 月以降は選挙権の引き下げが施行されるので若い世代にももっと選挙の重要性を伝えながら PR しなければならないと思います。今回はクロストーク形式でおこないました。コーディネーターのお二人には大変だったと思いますが、臨機応変に対応していただきました。この事業を通じ各立候補予定者の将来のビジョンや政策の違いを明確にすることで地域社会発展の一助に繋がったと感じております。

4. 次年度への引継ぎ事項

- ・コーディネーターを LOM メンバーで出来た事は良かったと思うので、今後も続けてほしいです。
- ・クロストークをする場合、コーディネーター側から質問する時は両候補者に質問を行うと良いです。
- ・受付は報道受付と一般受付を明確に分け、タイムキーパーは数名で担当し、連携をとりながら行くとスムーズです。
- ・入口と出口を明確に分け、席も「前から順番に着座願います」と声掛けし誘導すると良いです。
- ・2016 年以降 18 歳以上に選挙権が改正されます。大学・高校に協力・参加してもらうと若い世代の関心が深まります。
- ・メンバー対象の勉強会を行う事ことで、市政の現状や今後の課題をメンバー同士で共有でき、市政に対する意識や関心の向上、例会参加率向上にも繋がりました。今後も必ず開催して下さい。
- ・「e-みらせん」は次回も行ってください。必要機材・撮影場所の打ち合わせをしっかりと行ってください。また「みらいく」は小中学生・高校生に選挙において投票を行うことの意義や重要性を理解し積極的な政治参画を促す教育プログラムです。開催できるような段取りしていただけると良いです。ブロック委員会との連携もこまめに行ってください。
- ・50 代以上の参加者が約 50 % と多く 10 代・20 代・30 代を合わせても約 17 % と低いという結果でした。若い世代が気軽に参加できる雰囲気、ポスターデザイン、開催時間や曜日、会場の選定を検討すると良いです。
- ・ブロック協議会主催のコーディネーター養成セミナーがあります。多くのメンバーがコーディネーター養成セミナーに行き運営の方法やコーディネーターとしての知識を学び共有することでメンバーの意識も高まります。
- ・今回はチラシとポスターの配布のみ行ったが、アンケート結果ではチラシがトップで 4 分の 1 を占め、次いで知人からの口コミ、インターネットがほぼ同数であった。紙媒体は予算が掛かるが、やはり集客には必要なものなので行って下さい。チラシ・ポスターは告知だけでなく青年会議所の活動を広く地域に知らせるという意味もあります。1 つの案内、募集方法に偏ることなく、あらゆる媒体を利用し広く告知をする事が集客のアップに繋がります。



2015 年 12 月例会 事業報告

委員会名：総務広報委員会

担当者：委員長 棚緒 麻美

1. 例会の概要

「12 月例会 2015 年度卒業式&ラストスピーチ」

開催時期：平成 26 年 12 月 5 日

開催場所：ローズガーデン

2. 参加者

例会名 正会員 97 名中 出席者数 60 名 (61.8 %)

※卒業生 9 名中 9 名出席 (事務局員 甘木史恵君を含む)

3. 例会に対するコメント

・卒業生全員から思いのこもったスピーチを行って頂きました。在籍年数や経歴に関わらず、J C と真剣に向き合い活動して来られたからこそ、私達に訴えかける感動的なスピーチをして頂きました。セレモニーも卒業生に行って頂き、「最後の修練の場」として素晴らしい姿勢を見せて下さいました。

・ラストスピーチ聞いている時のメンバーの表情や卒業生にかかる言葉の数々、本多顧問の思い溢れる言葉等々から、参加したメンバー全員が今後の J C 活動や家庭で生かせる大きな糧を得ることができたと感じています。

・初めての会場ではありましたが大きな問題もなく無事に卒業式を行う事ができました。皆様の多大なご協力のおかげです。ありがとうございました。

4. 次年度への引継ぎ事項

・看板は年度記載がなく国旗と J C 旗が入った物がありますのでそれを使用して頂くとよいと思います。

・卒業生のスピーチ時間は会場使用可能な時間が決まっている場合は特に、スピーチ中の卒業生本人にも解るように残り時間をお知らせして頂くとよいと思います。

・例会後、メンバーも皆でお酒を楽しみながらラストスピーチの時間を共有したかったと卒業生より話がありましたので、ご検討ください。

・是非その年の総務らしさを思い切り出して一年の事業・例会の締めくくりとしてメンバーにとっても印象に残るようなものにして下さい。





2016年度
(平成28年度)

事業及び収支予算計画書

公益社団法人 米沢青年会議所
自 2016年 1月 1日
至 2016年 12月 31日

米沢 J C スローガン

Marche !!
～私たちの成長が、
このまちの未来を創る～

日本 J C スローガン

強く 優しく しなやかに あらゆる
価値の根源となれ！

東北地区協議会スローガン

次世代へ夢と希望溢れる東北の実現

山形ブロック協議会スローガン

次世代へつなぐ夢と希望溢れる
やまがたの実現

公益社団法人 米沢青年会議所
2016年度 理事長所信

公益社団法人 米沢青年会議所
加藤 剛士

～はじめに～

青年会議所とは私たちにとって何なのでしょう。自分の時間の多くを費やし、私たちは何を求め活動しているのでしょうか。

もちろんこの答えは人によって様々ですが、私にとって青年会議所とは自らを成長させる場であると信じています。2009年の入会以来、様々な経験をさせていただきました。様々な場で多くの方々と出会い、数え切れないほどの気づきと学びを得ることが出来ました。自らの成長とは気づき難いものです。またその過程ではそれを実感することはなお難しいでしょう。ひとつの事を成し遂げた後、それを振り返ったときに初めて自らの成長に気づき自信が生まれ、それがまた新たな成長の糧となるのです。

私たち一人ひとりが主体的に考え行動できるリーダーとして成長することが、各々の会社や組織の発展に繋がり、それが地域、ひいては国の発展に繋がっていくことを意識し、広い視野と当事者意識を持って日々の活動を行っていくことが必要だと考えます。

～未来を託すひとづくり・青少年育成～

まちはそこに暮らす人々で構成されています。なかでも子供たちはその未来を担う大切な存在であり財産です。子供たちは成長過程において、様々な経験を通じ夢や目標を抱きます。その限られた時間にしか出来ない貴重な経験の場を提供することで、子供たちの可能性はますます広がっていくはずです。

また私たちは、その子供たちの模範となるべく行動していかなければなりません。子供たちにこうあって欲しいと願うのであれば、まず私たちがその姿勢を子供たちに示す事が必要です。そして私たちが希望を持って夢を語る大人にならなければなりません。大人が希望を持てなければ子供たちは将来に希望を持つことはできないでしょう。その為にも前向きな姿勢で多くのことに挑戦し、仲間たちと切磋琢磨しながらメンバーの資質向上を図っていかなければなりません。

～これからのまちづくり～

全国的に地方の疲弊が叫ばれており、私たちが活動しているこの米沢・川西も例外ではありません。しかし全国を見渡せば、様々な取り組みで人口減少に歯止めをかけ、活気を取り戻している自治体があることもまた事実です。そのような自治体で行われている成功事例を柔軟に取り入れるなど、私たちだからこそ出来る、私たちにしか出来ない、中・長

期的な視野に立った事業を構築していかなければなりません。

継続事業として参加している雪灯籠まつりを始めとした、まちづくりの事業から新たなこのまちの魅力を見出すと共にこのまちの価値を高め、私たちの住み暮らすこのまちを今より良くするという意思を明確に示し、メンバー全員がそれを強く自覚した上で各種事業に臨む事でその当事者意識を市民・町民に伝播して市民主導のうねりを作り出し、これからのまちづくりを牽引していくことが私たちには求められていると考えます。

～積極的変革からの地域活性～

私たちが住み暮らすこの地域には多くの魅力があり、またそれを活用したまちづくりも行われていますが、私たちはその先頭に立ち、この地域のさらなる活性化へと取り組まねばなりません。そのためにはあらゆる事に対し疑問を持ち、積極的な変革を取り入れる必要があります。またその結果が誤りであったとしてもそれは責められるものではなく、むしろＪＣにおいては勇気ある行動として賞賛されるべきものです。失敗を恐れず勇気ある積極的な変革からよりこの地域を活性化させるために、しがらみを持たない私たちだからこそできる活動があるのです。

２０１０年から開催しているミュージックフェスティバルも７回目を数えることとなります。昨年までの検証を十二分に行い今後の指針を検討すると共に、以前より取り組んでいる有志による実行委員会が中心となったミュージックフェスティバルへの移行をさらに進めて行かなければなりません。また地元高校生の出演についても引き続き取り組んで参ります。それこそが私たちの掲げる積極的な変革の一端として市民が中心となった地域活性であると考えます。

２０１３年からの米沢商工会議所青年部との共催も４回目となります。この連携も更に強固な物とし市民発かつ米沢の夏の祭りとして市民に定着するような取り組みを続けていかなければなりません。

～復幸支援活動～

２０１１年の東日本大震災以降、米沢ＪＣでは様々な形で被災地、主に宮城県亘理郡への支援に取り組んできました。発災から５年を経てもなお、被災地の状況は刻々と変化しています。なぜ私たちが支援活動を行っているのかをもう一度考え、今何が必要とされているのかを見極めた上で復幸支援に取り組まねばなりません。「まだやっている」のではなく「まだまだやる」のです。極論ですが「もう来なくて結構です。」と言われるまで行うのが本当の支援と考えます。

あの震災の記憶が風化しつつある今だからこそ私たちＪＡＹＣＥＥに取り組むべき課題です。

～メンバーの資質向上と会員拡大～

会員拡大とは私たちの活動の根幹を成すものです。私たちの運動の理解者を一人でも増やすことが私たちの活動を運動に繋げる事になるのです。

私たち米沢JCではここ数年の会員拡大に対する取り組みが功を奏し、会員数の減少には一定の歯止めが掛かりました。会員拡大というJCにおいての命題が成果を上げていることは大変喜ばしく、また今後もより一層の取り組みを続けていかねばなりません。しかし現時点で入会3年未満のメンバーが4割を占めており、在籍年数の浅いメンバーに対する強いフォローアップが必要であると考えます。会員拡大と会員資質向上を両輪としより強い組織の構築へ取り組む必要があります。

～積極的かつ多角的総務広報～

JCの事を知っている人はどの位いるのでしょうか。メンバーの家族や会社の方、OBやJCに携わった人々を除くと知らないという方が大半ではないでしょうか。私たちの活動エリアである米沢・川西のような地方都市ではまだ知名度がある方ではないかと感じますが、首都圏等の都市部であればその認知度は3%以下というデータもあります。

私たちは名を売る為や直接的な利益を求めて行動しているわけではありません。しかし私たちの活動をより市民・町民の方々に知っていただくことは、公益法人として活動が続けていく上で、またJC運動を広める為に必要不可欠です。

近年続けているSNSやWEBサイト等のツールの活用は勿論、既存メディアへの働きかけを積極的に行い、JCの認知度を高め私たちの活動の理解者を増やし、それがひいては将来的な事業の成功や会員の拡大に繋がるような活動を行います。

また外部への発信だけでなくメンバー内の情報共有を積極的に進め、情報の伝達を早く正確に行える体制を構築します。

～ブロック大会誘致について～

2015年第107回総会にて決議されたブロック大会に誘致について、2016年度も引き続き取り組みます。ブロック大会を行う意義についてメンバーの理解度を深め、全員一丸となって2018年度のブロック大会主管獲得を目指します。なぜブロック大会を開催するのか、メンバー一人ひとりが理解し取り組む姿勢こそが、ブロック大会を開催するひとつの大きな意義であり、メンバーの成長に繋がる機会として積極的に取り組んで参ります。

～結びに～

JC運動とは社会という水面に小石で波紋を作り続けるようなものです。一石の波紋は小さくとも投げ続けることにより、共鳴し大きな波紋になっていきます。私たちには積極的な変化という波紋を作り続け、未来へ繋いでいかなければなりません。この責任を託す次世代のため、この米沢・川西を「明るい豊かな社会」に近づけるため、青年らしく失敗

を恐れず「意志あるところに道は開ける」そう信じ、一人ひとりの成長による変化により地域を変えていく。それが出来るのは、大きな責任を自覚する我々 J A Y C E E しかいないと信じています。

私たち、公益社団法人米沢青年会議所は54年の歴史を重ねてきました。それはただ単に54年間を経たということではありません。先輩諸兄が築いてこられた歴史や伝統、そしてその創始の精神を受け継ぎ私たちはここにいるのです。その永い歴史の新たな1ページとして、また次世代の礎として、未来に誇れる活動を、「明るい豊かな米沢・川西」の未来を共に作り上げましょう。

公益社団法人 米沢青年会議所

2016 年度 基本理念

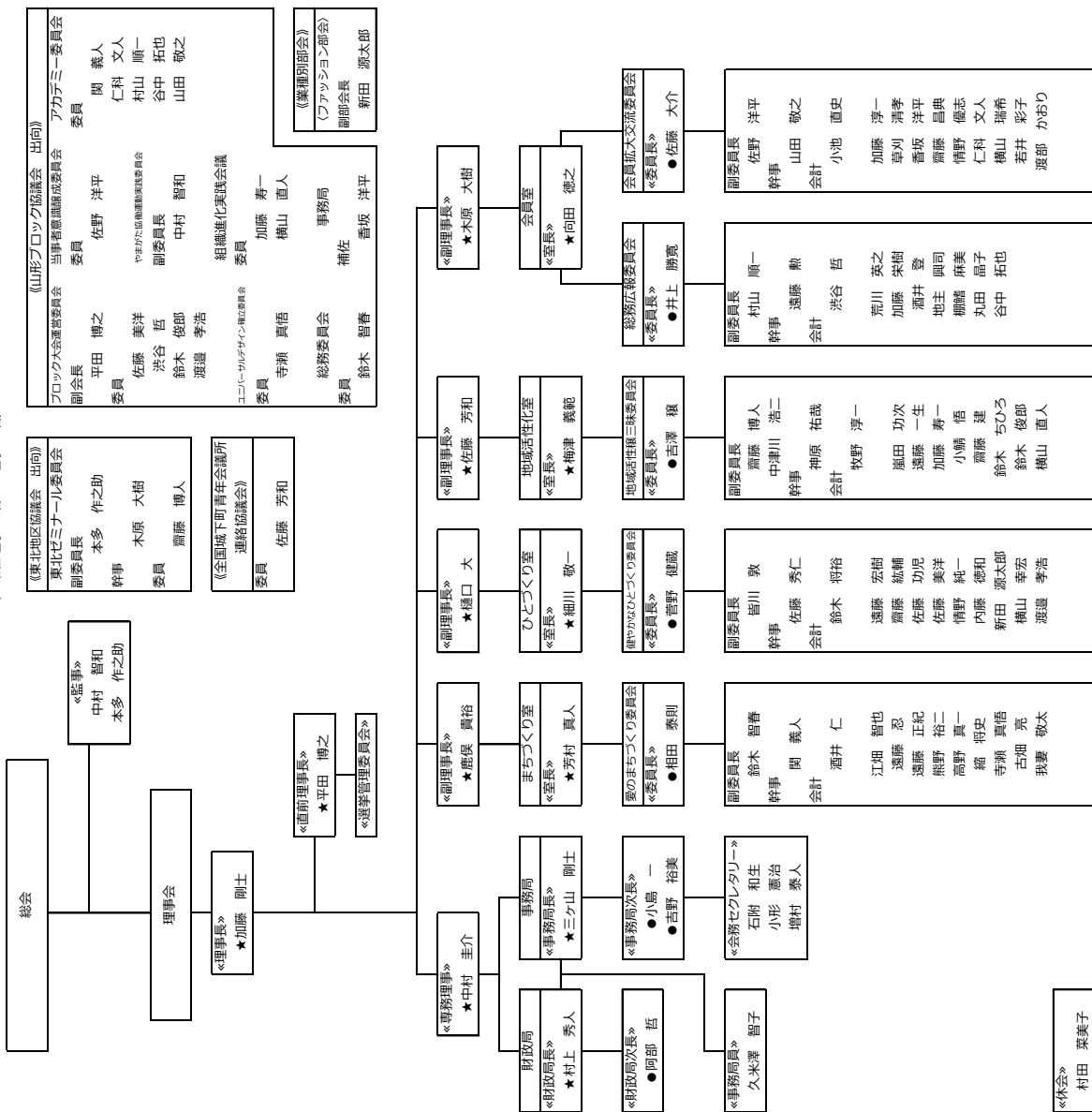
私たちの成長がこのまちの成長に！

一人ひとりが意識を高め、勇気を持って行動しよう！

公益社団法人米沢青年会議所 2016年度 組織図

(会員数 85名)

(★常任理事13名 ●理事21名)



公益社団法人 米沢青年会議所 2016年度 年間事業計画

月	例 会 ・ 総 会	内 容	担当委員会
1月	第109会通常総会 新春祝賀会	2015年度総会上程議案を審議し決議を得る 来賓、OBへ2016年度体制と基本方針を示す	総務広報委員会 総務広報委員会
2月	上杉雪灯籠まつり ブロック会長第4エリア公式訪問	上杉雪灯籠まつりへの参加 山形ブロック協議会会長公式訪問（長井）	愛のまちづくり委員会 事務局
3月	地域活性化事業	地域を活性化させ、未来へ繋がる事業	地域活性穰三昧委員会
4月	資質向上例会 川西町長選挙 公開討論会	山形ブロック大会主管へ向けてのメンバーの意識 向上 公開討論会の実施	事務局 愛のまちづくり委員会
5月	復幸支援事業	被災地、被災者への支援活動	健やかなひとづくり委員会
6月	山形ブロック協働運動 創立55周年式典・祝賀会	ふるさとOMOIYARIプロジェクト事業 創立55周年式典並びに祝賀会の企画・実施	事務局 総務広報委員会
7月	山形ブロック大会 バッジ贈呈・理事長候補者意見表明 地域活性化、地域交流事業	山形ブロック大会上山大会への参加 新入会員、次年度理事長候補者当選者報告 MUSIC FESTIVAL 2016の開催	事務局 会員拡大交流委員会 地域活性穰三昧委員会
8月	青少年育成事業	次世代を託す青少年の育成に繋がる事業	健やかなひとづくり委員会
9月	まちづくり事業 第110会通常総会	地域の価値を高める新しいまちづくり事業 次年度理事長予定者承認、所信表明	愛のまちづくり委員会 総務広報委員会
10月	第4エリア合同例会	第4エリア合同会員研修、交流事業（長井）	事務局
11月	家族交流事業	会員、家族交流事業	会員拡大交流委員会
12月	卒業式	卒業式・ラストスピーチ2016の企画・実施	総務広報委員会

科 目		公益事業会計					その他の事業会計					法人会計	内部取引消去	合計	
		青少年事業	ひとづくり事業	まちづくり事業	共通	小計	会員拡大事業	会員経営事業	会員実用向上事業	その他	共通				小計
Ⅰ 一般正味財産の部															
1. 経常増減の部															
(1) 経常収益															
基本財産運用益															
基本財産受取利息															
0															
特定資産運用益															
0															
受取入金等															
受取入会金															
90,000															
80,000															
210,000															
正会員受取会費															
210,000															
100,800															
2,105,015															
2,739,000															
5,154,815															
150,000															
576,000															
100,000															
176,000															
696,000															
1,622,000															
2,963,385															
9,240,000															
休会会員受取会費															
0															
38,000															
55,000															
新入会員受取会費															
0															
940,000															
600,000															
特別会員受取会費															
0															
112,000															
160,000															
賛助会員受取会費															
0															
0															
寄附品受取会費															
0															
0															
特別受取会費															
0															
176,000															
796,000															
1,260,000															
事業収益															
公益事業収益															
書籍料収入															
100,000															
20,000															
100,000															
販売収入															
0															
20,000															
0															
雑収入															
0															
0															
受取補助金等															
地方公共団体補助金収入															
0															
0															
1,600,000															
1,600,000															
民間補助金収入															
0															
0															
業務受託収入															
0															
0															
0															
受取利息金															
0															
受取寄付金															
0															
雑収益															
受取利息収入															
0															
その他雑収入															
0															
0															
経常収益計															
310,000															
100,800															
3,905,015															
3,371,500															
7,687,115															
150,000															
576,000															
100,000															
176,000															
696,000															
1,686,000															
3,949,385															
0															
13,335,000															
(2) 経常費用															
事業費															
給与手当															
438,000															
438,000															
退職給付費用															
0															
福利厚生費															
0															
146,000															
146,000															
会議費															
0															
200,000															
200,000															
旅費交通費															
30,000															
86,000															
100,000															
216,000															
30,000															
45,000															
90,000															
50,000															
86,000															
130,000															
235,000															
0															
50,000															
909,000															
修繕費															
0															
10,000															
10,000															
印刷製本費															
0															
0															
燃料費															
0															
0															
賃借料															
0															
290,000															
600,000															
620,000															
45,000															
35,000															
50,000															
200,000															
330,000															
1,250,000															
30,000															
30,000															
355,000															
雑収入															
0															
0															
0															
107,100															
107,100															
12,600															
12,600															
140,525															
32,860															
32,860															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															
0															

J C 宣 言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

公益社団法人 米沢青年会議所

事務所 〒992-0119

米沢市アルカディア1丁目808-18

米沢商工会議所地域産業支援センター内

Phone.0238-29-0336 Fax.0238-28-7910

E-mail info@yonezawajc.net